

## シラバス

科目名		英会話 I		担当 者 名		Aaron Meldahl		
学科		エアポートサービス科 グラントハンドリングコース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)			
授 業 目 的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。						
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。						
授 業 概 要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。		
	2	オリエンテーション2			20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。		
	3	オリエンテーション3			21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。		
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問			22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます。		
	5	Present Tense 現在形を練習します。			23	Making small talk. 雑談できるように学びます。		
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学びます。			24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。		
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。			25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。		
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。			26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。		
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。			27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。		
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。			28	Travel manners and safety.海外と日本のマナーや 習慣の違いについて学びます。		
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。			29	Making requests. お願いの仕方について学びます。		
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックイン について学びます。			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明できるよう学びます。		
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。			31	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。		
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。			32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。		
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、 スポーツなど自分が好きな事を話します。			33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う理由を説明する英語を学びます。		
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。			34	確認テスト・まとめ1		
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。			35	確認テスト・まとめ2		
18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。			36	確認テスト・まとめ3			
成 績 割 合	テスト		50%	学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付			
	学習態度		50%					
	レポート		0%	成 績 評 価	授業全体を100点満点をして採点する。 定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点か ら成績評価を行う。			
	合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%						
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。						

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習形式	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36 時 間 (週講時数 1)	
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などにを自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定		
	2	職業を得るとはどういうことか考える		20	テクノスノートを使用し、明確にする		
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える		21	目標達成するための工夫をディスカッションする		
	4	今年度の目標を設定する		22	成長した部分の確認		
	5	目標達成のための計画をつくる		23	工夫を今後に活かす		
	6	計画を実行するためには?? メンター制度		24	マナープロトコル検定に向けて		
	7	お互いに観察し、振り返りを共有		25	マナープロトコル検定 模擬試験①		
	8	学修機会の再確認		26	マナープロトコル検定 模擬試験②		
	9	学修機会を最大限に活かすためには		27	マナープロトコル勉強会		
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は		28	マナープロトコル勉強会		
	11	事前プレゼンテーション		29	フィールドワーク② 内容を決める		
	12	実際に探求、体験、その成果検証		30	事前プレゼンテーション		
	13	報告プレゼンテーション準備		31	フィールドワーク		
	14	プレゼンテーション		32	報告プレゼンテーション準備①		
	15	プレゼンテーション		33	報告プレゼンテーション		
	16	振り返りスピーチ		34	報告プレゼンテーション		
	17	振り返りスピーチ		35	振り返りスピーチ		
	18	まとめ		36	まとめ		
成績割合		テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		海外実務Ⅰ		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)	
授業目的		海外旅行に役立つ知識を習得する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行についての理解を深め、教養を深める					
授業概要		時差の知識や航空、鉄道などの交通機関を勉強し、海外でのホテルや食事の知識を深める					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19		
	2	世界時差の研究と解説			20		
	3	国別による時差と計算方法			21		
	4	時刻表での国際線知識			22		
	5	各航空便での所要時間計算			23		
	6	OAG航空便時刻表研究①			24		
	7	OAG航空便時刻表研究②			25		
	8	都市コードの研究			26		
	9	世界の鉄道についての知識			27		
	10	ヨーロッパの鉄道			28		
	11	世界鉄道時刻表の解説			29		
	12	船舶、航路の研究			30		
	13	ホテルに関する解説①			31		
	14	ホテルに関する解説②			32		
	15	食事県警の研究と解説①			33		
	16	食事県警の研究と解説②			34		
	17	期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説 まとめ			36		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート・課題	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					

## シラバス

科目名		パソコン実習Ⅰ		担 当 者 名		深井 妙子	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 (通 年) 必 修 ・ 選 択 ・ (必修選択)		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	科目ガイダンス			19	図の挿入/図形の描画	
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本			20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	タイピング練習/文字入力の基本			21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	ビジネス文書の書き方			22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)			23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)			24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	7	ビジネスメールの書き方			25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	8	ビジネスメール課題			26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	9	表作成の基本			27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6	
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)			28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)			29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)			30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)			31	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)			32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)			33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6	
	16	前期期末試験			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験の解答解説			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		運送・宿泊約款		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		航空運送の知識を深める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		将来の職場、航空、空港、関連事業での知識を深める					
授業概要		運送約款のテキストに沿って講義してゆく JAL,ANA等の職場DVDを見てゆく					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19			
	2	国際旅客運送約款解説		20			
	3	定義、用語解説①		21			
	4	定義、用語解説②		22			
	5	コードシェア便・航空券		23			
	6	途中降機・運賃・経路		24			
	7	予約関係解説		25			
	8	手荷物関係解説		26			
	9	払い戻し・機内食関係		27			
	10	国内旅客運送約款解説		28			
	11	定義・用語解説		29			
	12	航空券の知識		30			
	13	運賃・料金の解説①		31			
	14	運賃・料金の解説②		32			
	15	手荷物関係解説		33			
	16	会社や旅客の責任限度		34			
	17	期末テスト		35			
	18	テスト返却 解説 まとめ		36			
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート・小テスト	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					

## シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作を学習後、 練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、 ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK, オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		検定		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実装型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		グランドスタッフ概論Ⅰ		担当 者 名		小池 はるか	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、実践など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事柄やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①	
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②	
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①	
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②	
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①	
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②	
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①	
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②	
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③	
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①	
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②	
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ②	
	13	チェックイン実践 ③			31	期末テスト ①	
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②	
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説	
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①	
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②	
	18	テスト返却 解説			36	振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					

## シラバス

科目名		エアポート概論Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習、実習など		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36 時 間(週講時数1)	
授業目的		エアライン業界に必要な知識を備える						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。						
授業概要		空港における業務全体を理解する為、グランドサービス・グランドハンドリング・エアカーゴの各業務について、基礎的な業務知識の理解を深める。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション			19	OAG① OAGの見方、引き方		
	2	空港業務について			20	OAG② 時差計算など		
	3	国内3レター・2レター			21	航空危険品 危険品について①		
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど			22	航空危険品 危険品について②		
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど			23	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど①		
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①			24	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど②		
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター			25	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について①		
	8	確認テスト			26	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について②		
	9	テスト返却 解説			27	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど①		
	10	グランドハンドリングについて① B/1～B/Oまでの機側業務について			28	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど②		
	11	グランドハンドリングについて② B/1～B/Oまでの機側業務について			29	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど③		
	12	SHIP TYPについて①			30	日本の航空会社について 企業理念など①		
	13	SHIP TYPについて①			31	日本の航空会社について 企業理念など②		
	14	安全について① テネリフェの悲劇			32	海外の航空会社について 企業理念など①		
	15	安全について② テネリフェの悲劇			33	海外の航空会社について 企業理念など①		
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」			34	総復習		
	17	前期試験			35	期末試験		
	18	試験返却 解説			36	試験返却 解説 まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%					
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						



## シラバス

科目名	基礎ゼミⅠA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科	エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36 時間(週講時数 2)
授業目的	移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19	
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20	
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21	
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22	
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って?? (観光系教員)			23	
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??(玄顧問or桶舎氏)			24	
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25	
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26	
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			27	
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			28	
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29	
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30	
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31	
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32	
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33	
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34	
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35	
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36	
成績割合	テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率		60%			
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体験型学習≫20%					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 (後 期) 通 年 必 修 ・ 選 択 (必修選択)		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致する のか インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体験型学習>20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		話し方		担 当 者 名		東真理	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		コミュニケーション能力を高め、人前で自分の意見を堂々と言えるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ボイストレーニング、様々なテーマでのスピーチ、グループディスカッション等を行うことにより、人に伝わる説得力のある話し方を身につける。					
授業概要		話し方の技術として、声の出し方、アイコンタクトの取り方、話の組み立てなどを学ぶ座学と、実際に人前でスピーチする実技を共に行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	年間予定と「話し方」についての説明。 挨拶・返事の仕方等の指導。講師紹介。		19	時事についてのスピーチ①		
	2	自己紹介のスピーチ		20	時事についてのスピーチ②		
	3	基礎レッスン・ボイストレーニング①		21	時事についてのスピーチ③		
	4	基礎レッスン・ボイストレーニング②		22	表現練習・朗読①		
	5	他己紹介のスピーチ①		23	表現練習・朗読②		
	6	他己紹介のスピーチ②		24	表現練習・朗読③		
	7	グループディスカッション①		25	表現練習・朗読④		
	8	グループディスカッション②		26	グループディスカッション・ディベート①		
	9	基礎レッスン・ボイストレーニング②		27	グループディスカッション・ディベート②		
	10	敬語①		28	グループディスカッション・ディベート③		
	11	敬語②		29	グループディスカッション・ディベート④		
	12	敬語③		30	グループ模擬面接①		
	13	アイコンタクト等表現練習①		31	グループ模擬面接②		
	14	アイコンタクト等表現練習②		32	グループ模擬面接③		
	15	基礎レッスン・ボイストレーニング③		33	学年末スピーチテスト		
	16	前期末スピーチテスト		34	学年末スピーチテスト		
	17	前期末スピーチテスト		35	テスト振り返り		
	18	テスト振り返り		36	年間のまとめ		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		(有)「スターダス・21」所属俳優、映像・舞台・声・CM等出演／タレント養成所講師 (株)「話し方研究所」認定インストラクター講師					

## シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		和田 みさ	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・ <u>通 年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

## シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		新井凡子	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間関係を大切にし、サービスのプロフェッショナルとしてふさわしい人材を育てる					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		自分自身を見つめ直し、コミュニケーション能力を向上させる					
授業概要		人間関係に大切な5つの基本項目を軸に、様々な角度から、心のこもったサービスができるようホスピタリティを学ぶ					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	マナーチェック・サービスにおける6S		
	2	オリエンテーション②		20	話し方・聴き方		
	3	自己分析		21	感動を与えるサービス		
	4	顧客満足		22	顧客心理		
	5	自己分析		23	サービス哲学・フィロソフィー		
	6	人間関係5原則①導入		24	事例研究グループワーク①		
	7	人間関係5原則②挨拶・返事		25	事例研究グループワーク②		
	8	人間関係5原則③身だしなみ		26	事例研究発表①		
	9	人間関係5原則④笑顔・表情		27	事例研究発表②		
	10	人間関係5原則⑤態度・立ち居振舞		28	敬語小テスト・復習		
	11	人間関係5原則⑥言葉遣い		29	ホスピタリティの実践		
	12	接客にふさわしい言葉がけ		30	サービスのプロフェッショナルとは		
	13	敬語ワークシート		31	好印象を与えるビジネスマナー		
	14	言葉がけワークシート		32	テスト前復習		
	15	スピーチ「心に残るサービス」		33	後期期末テスト		
	16	テスト前復習		34	テスト返却		
	17	前期期末テスト		35	振り返り		
	18	テスト返却		36	まとめ		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		25%				
	レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。					

## シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択（必修選択）		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、前期は観光英検3級の取得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		観光英検3級合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		テキストと、リスニング教材を使い、聞く力、観光英語独特の用語の暗記、問題の解きを習得する。 各回観光英検過去問を短時間で解く。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	Unit 1 Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 1 Reading, Writing,,Listening			21		
	4	Unit 2 Vocabulary,Conversation,Listening			22		
	5	Unit 2 Reading, Writing,,Listening			23		
	6	Unit 3 Vocabulary,Conversation,Listening			24		
	7	Unit 3 Reading, Writing,,Listening			25		
	8	Unit 4 Vocabulary,Conversation,Listening			26		
	9	Unit 4 Reading, Writing,,Listening			27		
	10	Unit 5 Vocabulary,Conversation,Listening			28		
	11	Unit 5 Reading, Writing,,Listening			29		
	12	Unit 6 Vocabulary,Conversation,Listening			30		
	13	Unit 6 Reading, Writing,,Listening			31		
	14	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			32		
	15	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			33		
	16	Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening			34		
	17	前期期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体験型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		外国語検定 I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)		
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、12月には外国語検定合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		外国語検定ブロンズ、シルバー合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		テキストと、リスニング教材を使い、聞く力、観光英語独特の用語の暗記、問題の解きを習得する。 各回観光英検過去問を短時間で解く。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	Unit 9 Vocabulary,Conversation,Listening			19		
	2	Unit 10Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 11Vocabulary,Conversation,Listening			21		
	4	観光英検3級過去問、Listening			22		
	5	みんなの外国語検定ブロンズ対策① 過去問、Listening			23		
	6	みんなの外国語検定ブロンズ対策② 過去問、Listening			24		
	7	みんなの外国語検定ブロンズ対策③ 過去問、Listening			25		
	8	みんなの外国語検定ブロンズ対策④ 過去問、Listening			26		
	9	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑤ 過去問、Listening			27		
	10	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑥ 過去問、Listening			28		
	11	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑦ 過去問、Listening			29		
	12	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑧ 過去問、Listening			30		
	13	みんなの外国語検定シルバー対策① 過去問、Listening			31		
	14	みんなの外国語検定シルバー対策② 過去問、Listening			32		
	15	みんなの外国語検定シルバー対策③ 過去問、Listening			33		
	16	みんなの外国語検定シルバー対策④ 過去問、Listening			34		
	17	後期期末テスト			35		
	18	テスト返却、解説			36		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		ディプロマ対策基礎		担 当 者 名		和田 彰	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・演習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数4)		
授業目的		ディプロマ教材を学習することにより全員合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期は演習を通じて国際航空貨物輸送、後期は危険物取扱の基礎的知識の習得。					
授業概要		演習を通じて、OAG・TACT Rateを始め、TACT Ruleの検索能力を高め、 自己解決能力を身に付ける。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	飛行時間		
	2	国際線時刻表の見方、及びFlightの種類		20	航空会社の受託・積み付け・搭載業務等①		
	3	IATAコード、時差等の計算方法		21	航空会社の受託・積み付け・搭載業務等②		
	4	寸法・重量の端数処理、及び運賃の種類		22	航空危険物の取扱いー目に見えない危険物①		
	5	運賃計算①		23	航空危険物の取扱いー目に見えない危険物②		
	6	運賃計算②		24	航空危険物の取扱いー輸送環境		
	7	従価料金・立替手数料等		25	航空危険物の取扱いー危険物リストの見方		
	8	貨物の受託条件		26	航空危険物の取扱いー包装物のマーク&ラベル		
	9	貨物予約方法・搭載優先品目		27	航空危険物の取扱いー演習①		
	10	航空運送状の作成		28	航空危険物の取扱いー演習②		
	11	航空機の特性及び搭載の条件①		29	航空危険物の取扱いー演習③		
	12	航空機の特性及び搭載の条件②		30	運送状作成①		
	13	国際機関の機能・役割等		31	運送状作成②		
	14	IATA代理店及び混載業者の機能・役割等		32	国内主要空港の実績及び特徴①		
	15	運賃計算③		33	国内主要空港の実績及び特徴②		
	16	運賃計算④		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	年間のまとめ		
成績割合		テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	10%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		40年間の実務経験、及び10年以上のJafaディプロマ講師					



## シラバス

科目名		国内観光地理		担 当 者 名		福井 成明	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習、発表	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 (必修選択)		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		日本の観光産業を、観光地を通して学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内各地の地理・歴史・文化・観光資源についての知識を身に付ける。					
授業概要		国内各地の観光素材について、各地の特産品や祭などを交えながら学ぶ。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	テスト返却	
	2	小テスト 都道府県			20	甲信越1	
	3	空港所在地1			21	甲信越2	
	4	空港所在地2			22	東海1	
	5	空港所在地3			23	東海2	
	6	振り返りテスト			24	近畿1	
	7	日本の世界遺産1			25	近畿2	
	8	日本の世界遺産2			26	近畿3	
	9	日本の世界遺産3			27	振り返りテスト	
	10	日本の世界遺産4			28	四国1	
	11	北海道1			29	四国2	
	12	北海道2			30	山陰1	
	13	東北1			31	山陰2	
	14	東北2			32	九州1	
	15	東北3			33	九州2	
	16	関東1			34	九州3	
	17	関東2			35	学年末テスト	
	18	前期末テスト			36	まとめ	
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		20年以上航空会社系の旅行会社で勤務。企画手配、カウンターセールス、営業等を経験。					

## シラバス

科目名	ケーススタディⅠ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科	エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的	過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予測できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要	職場や、日常での事例探究					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1		19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①	
	2	オリエンテーション2		20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②	
	3	日常生活に潜む危険①		21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③	
	4	日常生活に潜む危険②		22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④	
	5	日常生活に潜む危険③		23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤	
	6	日常生活に潜む危険④		24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥	
	7	日常生活に潜む危険⑤		25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦	
	8	日常生活に潜む危険⑥		26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①	
	9	日常生活に潜む危険⑦		27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②	
	10	職場に潜む危険①		28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③	
	11	職場に潜む危険②		29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④	
	12	職場に潜む危険③		30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤	
	13	職場に潜む危険④		31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥	
	14	職場に潜む危険⑤		32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦	
	15	職場に潜む危険⑥		33	危険ポイント総復習	
	16	職場に潜む危険⑦		34	期末テスト(口頭試問)	
	17	期末テスト(口頭試問)		35	テストフィードバック	
	18	テストフィードバック		36	年間総括	
成績割合	テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度		50%			
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける					
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	自己紹介			19		
	2	自己紹介			20		
	3	講義形式の授業の受け方			21		
	4	実習形式の授業の受け方			22		
	5	インターンシップについて			23		
	6	レポート提出について			24		
	7	レポートの書き方			25		
	8	提出物について			26		
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27		
	10	日直制度について			28		
	11	一般的なドレスアップについて			29		
	12	オフィスカジュアルとは			30		
	13	学内での注意事項			31		
	14	学内でのルール			32		
	15	ワークショップ①			33		
	16	ワークショップ②			34		
	17	ワークショップ③			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・ <u>後 期</u> ・通 年 <u>必 修</u> ・選 択 ・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。適宜、グループディスカッションなども行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	進路&業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書&ESの書き方①			32		
	15	履歴書&ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。英語面接の練習は、外国人教員が担当する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	志望動機作成①			19		
	2	志望動機作成②			20		
	3	志望動機添削			21		
	4	自己PR作成①			22		
	5	自己PR作成②			23		
	6	自己PR作成③			24		
	7	自己PR添削			25		
	8	英語面接練習①			26		
	9	英語面接練習②			27		
	10	英語面接練習③			28		
	11	筆記試験対策 国語①			29		
	12	筆記試験対策 国語②			30		
	13	筆記試験対策 社会①			31		
	14	筆記試験対策 社会②			32		
	15	筆記試験対策 社会③			33		
	16	筆記試験対策 英語①			34		
	17	一般常識の試験			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授 業 方 法		実習・講義		
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)			
授 業 目 的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。						
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。						
授 業 概 要		SPIの問題集などを使って行う。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	就職試験とは			19			
	2	SPI対策①(言語)			20			
	3	SPI対策②(言語)			21			
	4	SPI対策③(言語)			22			
	5	SPI対策①(非言語)			23			
	6	SPI対策②(非言語)			24			
	7	SPI対策③(非言語)			25			
	8	集団面接対策講座①			26			
	9	集団面接対策講座②			27			
	10	集団面接対策講座③			28			
	11	グループディスカッション対策①			29			
	12	グループディスカッション対策②			30			
	13	グループディスカッション対策③			31			
	14	個人面接対策①			32			
	15	個人面接対策②			33			
	16	個人面接対策③			34			
	17	SPI試験			35			
	18	各種面接の総復習			36			
成 績 割 合		テスト		0%	学 習 FB 方 法	成 績 表 送 付		
		学習態度・出席率		80%				
		レポート・課題		20%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習・講義		
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)			
授業目的		職業に関しての理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関しても理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。						
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション			19			
	2	キャリアとは何か			20			
	3	キャリアデザインに関する理論①			21			
	4	キャリアデザインに関する理論②			22			
	5	キャリアデザインに関する理論③			23			
	6	職業とは			24			
	7	多様な職業を知る			25			
	8	キャリアの振り返り			26			
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27			
	10	パーソナリティ			28			
	11	社会の理解			29			
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30			
	13	多様なキャリア			31			
	14	就職活動に関するスキル①			32			
	15	就職活動に関するスキル②			33			
	16	社会において求められる能力			34			
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35			
	18	まとめ			36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		80%				
		レポート・課題		20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション2 チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??			21		
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)			22		
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果 は、問題は)			23		
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果 や問題は??)			24		
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果 や問題は??)			25		
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い			26		
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～			27		
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割は??			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、 戦略を考える			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					



## シラバス

科目名		応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??			19		
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			23		
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		英会話Ⅱ		担 当 者 名		Peter Ripley		
学科		エアポートサービス科 グラントハンドリングコース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト						
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい 学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎 から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の 教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	Units 7/8 Lesson A		
	2	オリエンテーション2			20	Units 7/8 Lesson B		
	3	オリエンテーション3			21	Units 7/8 Lesson C		
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Test 7/8		
	5	Units 1/2 Lesson B			23	Test 7/8		
	6	Units 1/2 Lesson C			24	Units 9/10 Lesson A		
	7	Test 1/2			25	Units 9/10 Lesson B		
	8	Test 1/2			26	Units 9/10 Lesson C		
	9	Units 3/4 Lesson A			27	Test 9/10		
	10	Units 3/4 Lesson B			28	Test 9/10		
	11	Units 3/4 Lesson C			29	Units 11/12 Lesson A		
	12	Test 3/4			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明できるよう学びます。		
	13	Test 3/4			31	Units 11/12 Lesson C		
	14	Units 5/6 Lesson A			32	Test 11/12		
	15	Units 5/6 Lesson B			33	Test 11/12		
	16	Units 5/6 Lesson C			34	確認テスト・まとめ1		
	17	Test 5/6			35	確認テスト・まとめ2		
	18	Test 5/6			36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		75%	学習FB方法		前期・後期に成績表配布	
		学習態度		25%				
		レポート		0%	成績評価		会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%						
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。						

## シラバス

科目名		接遇手話Ⅱ		担 当 者 名		仲野 裕子	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解を深める ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への応対技術を学ぶ。					
授業概要		聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。 聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	日常会話/例文練習(友人との会話)	
	3	オリエンテーション③			21	〃 (国名・観光地の表現)	
	4	基本の復習と確認(自己紹介・指文字/数字等の復習)			22	接遇手話(建物内での案内 トイレ/非常口)	
	5	基本の復習と確認(疑問詞を使った会話の復習)			23	〃 (窓口での会話 旅行会社/ホテル)	
	6	〃			24	〃 (レストランでの接客 注文/レジ等)	
	7	〃			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	接遇手話(接遇に関する単語)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (接客での会話練習)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃			28	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃			29	1年間の総復習①	
	12	地名の復習(都道府県の表現を含んだ会話練習)			30	1年間の総復習②	
	13	〃			31	1年間の総復習③	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			32	1年間の総復習④	
	15	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期の復習			35	試験の返却/解説	
	18	前期末試験(表出試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

## シラバス

科目名		観光英語Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)	
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問		19			
	2	U1, Transportation,Listening,過去問		20			
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問		21			
	4	U2 Listening,過去問		22			
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問		23			
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問		24			
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問		25			
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問		26			
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問		27			
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問		28			
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問		29			
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問		30			
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問		31			
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問		32			
	15	Review,Lis.過去問		33			
	16	復習		34			
	17	前期期末テスト		35			
	18	テスト返却、解説		36			
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		外国語検定Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			19		
	2	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			20		
	3	U10 Culture Experience in Japan 1			21		
	4	U11 Culture Experience in Japan 2			22		
	5	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			23		
	6	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			24		
	7	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			25		
	8	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			26		
	9	U14 Dealing with complaints & Accidents			27		
	10	U14 Dealing with complaints & Accidents			28		
	11	U15 Upon Departure			29		
	12	みんなの外国語検定対策① 過去問、Listening			30		
	13	みんなの外国語検定対策② 過去問、Listening			31		
	14	みんなの外国語検定対策③ 過去問、Listening			32		
	15	みんなの外国語検定対策④ 過去問、Listening			33		
	16	後期期末テスト			34		
	17	テスト返却、解説			35		
	18	振り返り まとめ			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		エアポートプレゼンテーション		担 当 者 名		中川文康	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義と実践形式演習	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		基本に忠実なプレゼン技法の習得を通じて、コミュニケーションの質を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼン資料作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションを実践できるようにする					
授業概要		①コミュニケーション強化の個人目標設定 ②プレゼンテーションの本質を理解する ③資料作成技術修得 ④話し方・表現等の技術修得					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション＋FB協議			19	新規の個人別演習課題目標設定	
	2	自己紹介の要点と技術＋小演習			20	新規の個人別演習課題目標設定	
	3	プレゼンテーションとは			21	資料作成	
	4	プレゼンテーション・マインド＋小演習			22	資料作成	
	5	プレゼンテーション・マインド＋小演習			23	資料作成	
	6	プレゼンの準備と戦略＋小演習			24	資料作成	
	7	プレゼンの準備と戦略＋小演習			25	資料作成(個人指導)	
	8	資料作成の要点(1)＋作成実習			26	資料作成(個人指導)	
	9	資料作成の要点(2)＋作成実習			27	資料作成(個人指導)	
	10	実践実技の要点＋話し方実習			28	資料作成(個人指導)	
	11	実践実技の要点＋話し方実習			29	実践発表	
	12	個人別演習課題 資料作成			30	実践発表	
	13	個人別演習課題 資料作成			31	実践発表	
	14	個人別演習課題 資料作成			32	実践発表	
	15	個人別演習課題 資料作成仕上げ			33	期末試験(レポート記述＋提出)	
	16	個人別演習課題 資料作成 提出			34	試験返却	
	17	期末試験(レポート記述＋提出)			35	まとめ	
	18	試験返却			36	振り返り討議	
成績割合		テスト(提出資料内容)		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		プレゼンテーション及びコミュニケーション技術の企業研修講師として10年のキャリアを活かし、学生が興味を持って 取り組めるプログラムと演習課題で学ぶ動機づけを継続させ、人前で話すことに自信をつけさせる。					

## シラバス

科目名		アマデウス実習Ⅱ		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択	・ 通 年 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	前期復習	
	2	オリエンテーション②			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション③			21	PNRのコピー、変更	
	4	国際線への導入			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	テスト返却 解説	
	16	検定対策①			34	まとめ①	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	まとめ②	
	18	検定対策③			36	まとめ③	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		検定		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≧40% R≪実働実践型学習≧0% A≪主体的参加型学習≧50% G≪海外体感型学習≧10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		車両実習Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		実習形式	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要なトーイングトラクターの運転技術の修得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		空港で一番台数が多く、航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要不可欠なトーイングトラクターを運転する。そして、操作スキルの修得を目指す。					
授業概要		トーイングトラクターを使用しての実習					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	車両応用①(牽引走行)		
	2	オリエンテーション②		20	車両応用②(牽引走行)		
	3	トーイングトラクターの特性		21	車両応用③(牽引走行)		
	4	始業前点検		22	車両応用④(牽引走行)		
	5	車両運転①(前進・後進)		23	車両応用⑤(スラローム走行)		
	6	車両運転②(前進・後進)		24	車両応用⑥(スラローム走行)		
	7	車両運転③(前進・後進)		25	車両応用⑦(スラローム走行)		
	8	車両運転④(スラローム)		26	車両応用⑧(スラローム走行)		
	9	車両運転⑤(スラローム)		27	車両応用⑨(牽引バック走行)		
	10	車両運転⑥(スラローム)		28	車両応用⑩(牽引バック走行)		
	11	車両運転⑦(スラローム)		29	車両応用⑪(牽引バック走行)		
	12	車両運転⑧(幅寄せ)		30	車両応用⑫(牽引バック走行)		
	13	車両運転⑨(幅寄せ)		31	車両応用⑬(牽引バック走行)		
	14	車両運転⑩(幅寄せ)		32	車両応用⑭(牽引バック走行)		
	15	車両運転⑪(幅寄せ)		33	車両応用⑮(牽引バック走行)		
	16	車両運転⑫(幅寄せ)		34	実技試験		
	17	実技試験		35	フィードバック		
	18	フィードバック		36	まとめ		
成績割合		実技テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					



## シラバス

科目名		パソコン実習Ⅱ		担 当 者 名		千葉 輝子	
学科		エアポートサービス科 グラントハンドリングコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	スライドの作成 グラフ			22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	中間試験 プレゼン発表			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			30	〃	
	13	表作成課題(四則演算/表の装飾)			31	〃	
	14	〃			32	〃	
	15	〃			33	〃	
	16	前期期末試験			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験の解答解説			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		フィジカルトレーニングⅡA		担当 者 名		小池 太	
学科		エアポートサービス科 グラウンドハンドリングコース		授業方法		実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)	
授業目的		健康な心身と生涯スポーツの楽しさを学ぶ。他者と協力して課題を解決する力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		グループにおける実技を通して、他者との関わりの中で自分の役割を確認することで、自己の成長を培う。自主的に参加することで、積極的に問題を解決し仲間と協力して成し遂げることで達成感を得る。					
授業概要		社会人になる為の準備としての、グループでの行動や協力を促す為のアイスブレイクや、アクティブラーニングに見られる積極的な活動参加による問題解決が行われる活動(ASE)を取り入れ、社会人になった後も、quality of lifeを意識した、個々の健康を維持できるような生涯スポーツやレクリエーションスポーツの導入を行う。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19			
	2	アイスブレイク (個人または少人数で参加できる活動)		20			
	3	アイスブレイク(グループで参加できる活動)		21			
	4	イニシアティブゲーム (コミュニケーション・協力を促す)		22			
	5	イニシアチブゲーム (自己開示・グループ対抗)		23			
	6	イニシアティブゲーム (他者との関係を促す)		24			
	7	レクリエーションスポーツ (インディアカ・ユニホック)		25			
	8	レクリエーションスポーツ (バウンズボール・アルティメット)		26			
	9	レクリエーションスポーツ (ソフトバレーボール・ポートボール)		27			
	10	ウォーミングアップとクールダウン		28			
	11	生涯スポーツ (バドミントン・卓球)		29			
	12	生涯スポーツ(バスケットボール:ミニゲーム)		30			
	13	生涯スポーツ(タッチバレーボール)		31			
	14	生涯スポーツ(創作ダンス)		32			
	15	生涯スポーツ(創作ダンス)		33			
	16	生涯スポーツ(フットサル)		34			
	17	競技スポーツ(バレーボール)		35			
	18	競技スポーツ(バスケットボール)		36			
成績割合		テスト・実技		25%	学習FB方法	授業中の課題に対するソフトコメント	
		学習態度		25%			
		出席率		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点 以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		生活の質の向上には生涯スポーツは大きな役割を持っています。健康の維持促進、社会に出た時に協力して問題を解決する力を、フィットネスの実技を通して楽しみながら学習しましょう。					

## シラバス

科目名		海外観光地理		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授 業 方 法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	世界の食事情		
	2	世界の国々と首都		20	世界の行事・イベント		
	3	世界遺産		21	世界のテーマパーク		
	4	世界遺産		22	世界の空港		
	5	オーストラリア・ニュージーランド		23	地域研究概論(各地の空港と観光地)		
	6	太平洋の島々		24	地域研究 ヨーロッパ1		
	7	アメリカ		25	地域研究 ヨーロッパ2		
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー		26	地域研究 ヨーロッパ3		
	9	欧) 全体の地勢		27	地域研究 北アメリカ		
	10	欧) 英・仏・伊		28	地域研究 北アメリカ2		
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー・中欧諸国		29	地域研究 東南アジア1		
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ		30	地域研究 東南アジア2		
	13	欧) 北欧諸国・ロシア		31	地域研究 中国		
	14	中国		32	地域研究 オセアニア		
	15	台湾、香港、韓国		33	地域研究 太平洋の島々		
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン		34	地域研究 オセアニア		
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国		35	地域研究 中近東・アフリカ		
	18	確認テスト・まとめ1		36	確認テスト・まとめ2		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。						

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		社会人基礎力の育成					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人基礎力の育成し、社会人となる					
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	後期概要		
	2	オリエンテーション2		20	学院祭学科イベント立案・役割分担		
	3	目的目標設定について		21	学院祭準備		
	4	クラス目標設定		22	学院祭準備		
	5	個人目標設定		23	学院祭準備		
	6	就職対策1		24	学院祭準備		
	7	就職対策2		25	学院祭準備		
	8	就職対策3		26	学院祭準備		
	9	学院祭 クラス企画話し合い		27	学院祭振り返り		
	10	学院祭 クラス企画決定		28	社会人講座 働くことの意味		
	11	主体性について		29	社会人講座 コミュニケーション		
	12	チームワークについて		30	社会人講座 マナー		
	13	夏期特別講座概要		31	卒業作品展立案・役割分担		
	14	学院祭について		32	卒業作品展準備		
	15	学院祭について		33	卒業作品展準備		
	16	学院祭について		34	卒業作品展準備		
	17	個人目標再設定		35	卒業作品展振り返り		
	18	前期総括		36	年間総括		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		ケーススタディⅡ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予見できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要		職場や、日常での事例探究					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①		
	2	オリエンテーション2		20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②		
	3	日常生活に潜む危険①		21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③		
	4	日常生活に潜む危険②		22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④		
	5	日常生活に潜む危険③		23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤		
	6	日常生活に潜む危険④		24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥		
	7	日常生活に潜む危険⑤		25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦		
	8	日常生活に潜む危険⑥		26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①		
	9	日常生活に潜む危険⑦		27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②		
	10	職場に潜む危険①		28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③		
	11	職場に潜む危険②		29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④		
	12	職場に潜む危険③		30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤		
	13	職場に潜む危険④		31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥		
	14	職場に潜む危険⑤		32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦		
	15	職場に潜む危険⑥		33	危険ポイント総復習		
	16	職場に潜む危険⑦		34	期末テスト(口頭試問)		
	17	期末テスト(口頭試問)		35	テストフィードバック		
	18	テストフィードバック		36	年間総括		
成績割合	テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		50%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		ビジネスマナー		担当 者 名		相川奏恵	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。 会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。 自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	テスト返却と前期の振り返り	
	2	オリエンテーション②			20	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)	
	3	コミュニケーション①			21	配慮の必要な方へのお手伝い	
	4	コミュニケーション②			22	バリアフリーとノーマライゼーション	
	5	ストローク			23	顧客満足とホスピタリティ	
	6	電話応対①			24	空間心理①	
	7	電話応対②			25	空間心理②	
	8	電話応対③			26	顧客心理①	
	9	好感もてる話し方・感じの良い聞き方			27	顧客心理②	
	10	来客応対と会話の仕方			28	クレーム対応①	
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方			29	クレーム対応②	
	12	訪問時のマナーと名刺交換			30	会社組織と協働	
	13	アポイントと訪問			31	指示・命令の受け方と報連相	
	14	ビジネス文書(社外)①			32	PDCAサイクル	
	15	ビジネス文書(社外)②			33	自己啓発と自己管理	
	16	ビジネス文書(社内・社交)①			34	期末テスト	
	17	ビジネス文書(社内・社交)②			35	テスト返却と1年の振り返り	
	18	前期期末テスト			36	まとめ	
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	レポート添削・実習個別評価とアドバイス/復習 確認ワークシート・定期テスト解説 前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		20%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

## シラバス

科目名		航空機概論		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義、演習など		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)		
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。						
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義			19	航空力学①		
	2	ドローンに関わる法令について			20	航空力学②		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について ①			21	航空機構造、材料		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について			22	航空機原動機、航空装備①		
	5	管制官の業務・用語について			23	航空機原動機、航空装備②		
	6	管制官の業務・用語について			24	航空法①		
	7	客室乗務員の資格や業務について①			25	航空法②		
	8	整備士の資格や業務について①			26	航空気象①		
	9	整備士の資格や業務について②			27	航空気象②		
	10	パイロットの資格や業務について①			28	操縦方法①		
	11	パイロットの資格や業務について②			29	操縦方法②		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①			30	航空管制①		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②			31	航空管制②		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①			32	空港、航空保安施設①		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②			33	空港、航空保安施設②		
	16	総復習			34	航空安全、航空関連職業知識 基礎的な航空一般常識の復習		
	17	定期試験			35	定期試験		
	18	試験返却、フィードバック			36	試験返却、フィードバック		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付			
		学習態度・出席率	20%					
		レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格			
		合計	100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体験型学習≫10%						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		国際航空貨物事情		担 当 者 名		和田 彰	
学科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授業方法		講義・演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空危険物の受託業務,及び国際航空輸送動向の基礎的知識を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		演習を通じて自己解決能力をを養うと共に、発表力を高める。					
授業概要		航空危険物の受託業務の基礎的知識を習得し、演習問題を通じて自己解決能力を養う。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	ALとフォワーダーの関係	
	2	航空危険物輸送の特性			20	混載の仕組み	
	3	リチウム電池の発火事例			21	混載のメリット①	
	4	リチウム電池の発火原因			22	混載のメリット②	
	5	リチウム電池の取り扱い規則①			23	全日空 沖縄ハブ構想の概要	
	6	リチウム電池の取り扱い規則②			24	沖縄ハブ構想のメリット・デメリット	
	7	無申告事故事例			25	沖縄ハブ構想は今後拡大可能か	
	8	米国発着に係わる無申告事故と罰金事例			26	国内主要空港の実績及び特徴①	
	9	危険物の分類			27	国内主要空港の実績及び特徴②	
	10	危険物の出荷方法			28	主要インテグレータの動向	
	11	危険物を収納する容器、及び包装要件			29	Fedexの戦略	
	12	危険物ラベル・マークのチェックポイント			30	航空輸送の特性	
	13	危険物申告書のチェックポイント①			31	日系フォワーダーの動向	
	14	危険物申告書のチェックポイント②			32	Fedexの戦略	
	15	危険物取扱いの演習①			33	航空輸送の特性	
	16	危険物取扱いの演習②			34	期末試験	
	17	期末試験			35	試験返却	
	18	試験返却			36	年間のまとめ	
成績割合		テスト		80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		10%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		40年間の実務経験と10年以上のJAFADIPLOMA講師、及びIATA認定講師					



科目名		Japanese Culture II		担 当 者 名		Gary	
学 科		エアポートサービス科 グランドハンドリングコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)		
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	世界遺産		
	2	オリエンテーション2		20	京都		
	3	オリエンテーション3		21	京都の世界遺産		
	4	イントロダクション		22	和風建築		
	5	日本について知っていること		23	日本の家屋・古民家		
	6	日本の各時代		24	江戸建物		
	7	時代についてプレゼンテーション		25	江戸建物・博物館		
	8	鎌倉時代		26	スピーチの準備		
	9	鎌倉の建築物		27	スピーチの練習		
	10	鎌倉のプレゼンテーション1		28	クラスでスピーチ披露		
	11	鎌倉のプレゼンテーション2		29	モダン日本文化・ポップカルチャー		
	12	日本食		30	最後のスピーチ		
	13	日本食プレゼンテーション		31	テストの説明		
	14	日本の夏		32	クラスでスピーチ		
	15	日本の祭り		33	期末テスト		
	16	祭りとテストの説明		34	確認テスト・まとめ1		
	17	祭りのプレゼンテーション		35	確認テスト・まとめ2		
	18	期末テスト		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		長年、日本でも語学教育に携わっている。 イギリス人であるが、日本を愛し、日本の文化に精通している。					

## シラバス

科目名		英会話 I		担当 者 名		Aaron Meldahl		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)			
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。						
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション1			19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。		
	2	オリエンテーション2			20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。		
	3	オリエンテーション3			21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。		
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問			22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます		
	5	Present Tense 現在形を練習します。			23	Making small talk. 雑談できるように学びます。		
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学びます。			24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。		
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。			25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。		
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。			26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。		
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。			27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。		
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。			28	Travel manners and safety.海外と日本のマナーや 習慣の違いについて学びます。		
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。			29	Making requests. お願いの仕方について学びます。		
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックイン について学びます。			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明できるよう学びます。		
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。			31	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。		
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。			32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。		
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、 スポーツなど自分が好きな事を話します。			33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う理由を説明する英語を学びます。		
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。			34	確認テスト・まとめ1		
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。			35	確認テスト・まとめ2		
18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。			36	確認テスト・まとめ3			
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付			
	学習態度		50%					
	レポート		0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。 定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。			
	合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%						
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。						

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		実習形式	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36 時 間 (週講時数 1)		
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などに自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定		
	2	職業を得るとはということか考える		20	テクノスノートを使用し、明確にする		
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える		21	目標達成するための工夫をディスカッションする		
	4	今年度の目標を設定する		22	成長した部分の確認		
	5	目標達成のための計画をつくる		23	工夫を今後に活かす		
	6	計画を実行するためには?? メンター制度		24	マナープロトコル検定に向けて		
	7	お互いに観察し、振り返りを共有		25	マナープロトコル検定 模擬試験①		
	8	学修機会の再確認		26	マナープロトコル検定 模擬試験②		
	9	学修機会を最大限に活かすためには		27	マナープロトコル勉強会		
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は		28	マナープロトコル勉強会		
	11	事前プレゼンテーション		29	フィールドワーク② 内容を決める		
	12	実際に探求、体験、その成果検証		30	事前プレゼンテーション		
	13	報告プレゼンテーション準備		31	フィールドワーク		
	14	プレゼンテーション		32	報告プレゼンテーション準備①		
	15	プレゼンテーション		33	報告プレゼンテーション		
	16	振り返りスピーチ		34	報告プレゼンテーション		
	17	振り返りスピーチ		35	振り返りスピーチ		
	18	まとめ		36	まとめ		
成績割合	テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		60%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		パソコン実習 I		担 当 者 名		深井 妙子	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		実 習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	図の挿入/図形の描画		
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本		20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	3	タイピング練習/文字入力の基本		21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	4	ビジネス文書の書き方		22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1		
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2		
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3		
	7	ビジネスメールの書き方		25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4		
	8	ビジネスメール課題		26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5		
	9	表作成の基本		27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6		
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)		28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1		
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)		29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2		
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)		30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3		
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)		31	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4		
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)		32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5		
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)		33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		海外実務 I		担 当 者 名		辻阪 昭浩	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)	
授業目的		海外旅行に役立つ知識を習得する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行についての理解を深め、教養を深める					
授業概要		時差の知識や航空、鉄道などの交通機関を勉強し、海外でのホテルや食事の知識を深める					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19			
	2	世界時差の研究と解説		20			
	3	国別による時差と計算方法		21			
	4	時刻表での国際線知識		22			
	5	各航空便での所要時間計算		23			
	6	OAG航空便時刻表研究①		24			
	7	OAG航空便時刻表研究②		25			
	8	都市コードの研究		26			
	9	世界の鉄道についての知識		27			
	10	ヨーロッパの鉄道		28			
	11	世界鉄道時刻表の解説		29			
	12	船舶、航路の研究		30			
	13	ホテルに関する解説①		31			
	14	ホテルに関する解説②		32			
	15	食事県警の研究と解説①		33			
	16	食事県警の研究と解説②		34			
	17	期末テスト		35			
	18	テスト返却 解説 まとめ		36			
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		30%				
	レポート・課題		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					

## シラバス

科目名		運送・宿泊約款		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)
授業目的		航空運送の知識を深める					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		将来の職場、航空、空港、関連事業での知識を深める					
授業概要		運送約款のテキストに沿って講義してゆく JAL,ANA等の職場DVDを見てゆく					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19		
	2	国際旅客運送約款解説			20		
	3	定義、用語解説①			21		
	4	定義、用語解説②			22		
	5	コードシェア便・航空券			23		
	6	途中降機・運賃・経路			24		
	7	予約関係解説			25		
	8	手荷物関係解説			26		
	9	払い戻し・機内食関係			27		
	10	国内旅客運送約款解説			28		
	11	定義・用語解説			29		
	12	航空券の知識			30		
	13	運賃・料金の解説①			31		
	14	運賃・料金の解説②			32		
	15	手荷物関係解説			33		
	16	会社や旅客の責任限度			34		
	17	期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説 まとめ			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート・小テスト		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					

## シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作を学習後、 練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、 ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK、オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		グランドスタッフ概論Ⅰ		担当 者 名		小池 はるか	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、実践など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事柄やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①	
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②	
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①	
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②	
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①	
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②	
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①	
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②	
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③	
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①	
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②	
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ③	
	13	チェックイン実践 ③			31	期末テスト ①	
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②	
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説	
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①	
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②	
	18	テスト返却 解説			36	振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					



## シラバス

科目名		エアポート概論Ⅰ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	36 時 間 (週講時数 1)		
授業目的		エアライン業界で必要な知識を備える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。					
授業概要		空港における業務全体を理解する為、グランドサービス・グランドハンドリング・エアカーゴの各業務について、基礎的な業務知識の理解を深める。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	OAG① OAGの見方、引き方		
	2	空港業務について		20	OAG② 時差計算など		
	3	国内3レター・2レター		21	航空危険品 危険品について①		
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど		22	航空危険品 危険品について②		
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど		23	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど①		
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①		24	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど②		
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター		25	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について①		
	8	確認テスト		26	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について②		
	9	テスト返却 解説		27	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど①		
	10	グランドハンドリングについて① B/I～B/Oまでの機側業務について		28	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど②		
	11	グランドハンドリングについて② B/I～B/Oまでの機側業務について		29	カスタマーサティスファクション CSについて、影響や取組みなど③		
	12	SHIP TYPについて①		30	日本の航空会社について 企業理念など①		
	13	SHIP TYPについて①		31	日本の航空会社について 企業理念など②		
	14	安全について① テネリフェの悲劇		32	海外の航空会社について 企業理念など①		
	15	安全について② テネリフェの悲劇		33	海外の航空会社について 企業理念など①		
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」		34	総復習		
	17	前期試験		35	期末試験		
	18	試験返却 解説		36	試験返却 解説 まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って?? (観光系教員)			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??(玄顧問or桶舎氏)			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットイングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットイングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修 ・ 選 択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)	
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー。インタビューを基に、 企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー。インタビューを基に、 企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズ と合致するのかインタビュー。インタビューを基に、 企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		話し方		担 当 者 名		東真理	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		コミュニケーション能力を高め、人前で自分の意見を堂々と言えるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ボイストレーニング、様々なテーマでのスピーチ、グループディスカッション等を行うことにより、人に伝わる説得力のある話し方を身につける。					
授業概要		話し方の技術として、声の出し方、アイコンタクトの取り方、話の組み立てなどを学ぶ座学と、実際に人前でスピーチする実技を共に行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	年間予定と「話し方」についての説明。 挨拶・返事の仕方等の指導。講師紹介。		19	時事についてのスピーチ①		
	2	自己紹介のスピーチ		20	時事についてのスピーチ②		
	3	基礎レッスン・ボイストレーニング①		21	時事についてのスピーチ③		
	4	基礎レッスン・ボイストレーニング②		22	表現練習・朗読①		
	5	他己紹介のスピーチ①		23	表現練習・朗読②		
	6	他己紹介のスピーチ②		24	表現練習・朗読③		
	7	グループディスカッション①		25	表現練習・朗読④		
	8	グループディスカッション②		26	グループディスカッション・ディベート①		
	9	基礎レッスン・ボイストレーニング③		27	グループディスカッション・ディベート②		
	10	敬語①		28	グループディスカッション・ディベート③		
	11	敬語②		29	グループディスカッション・ディベート④		
	12	敬語③		30	グループ模擬面接①		
	13	アイコンタクト等表現練習①		31	グループ模擬面接②		
	14	アイコンタクト等表現練習②		32	グループ模擬面接③		
	15	基礎レッスン・ボイストレーニング④		33	学年末スピーチテスト		
	16	前期末スピーチテスト		34	学年末スピーチテスト		
	17	前期末スピーチテスト		35	テスト振り返り		
	18	テスト振り返り		36	年間のまとめ		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		40%				
	レポート		10%	成績評価 <td colspan="3" rowspan="2">出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格</td>	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		(有)「スターダス・21」所属俳優、映像・舞台・声・CM等出演／タレント養成所講師 (株)「話し方研究所」認定インストラクター講師					

## シラバス

科目名		Grammer I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		単語や熟語は毎回小テストを実施する。文法は問題を解きながら、解説していく。学生がわかりにくいところは理解できるまで例文を交えて、説明する。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明		19	前置詞		
	2	品 詞		20	関係詞		
	3	代名詞		21	分詞		
	4	比較		22	復習		
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句		23	時制と代名詞		
	6	復習		24	つながり言葉		
	7	単語試験1、英字新聞を読む		25	語法		
	8	時制1		26	ボキャブラリー1		
	9	時制2		27	ボキャブラリー2		
	10	受動態		28	ニュースを読む		
	11	能動態		29	関係代名詞1		
	12	主語と述語の一致		30	関係代名詞2		
	13	不定詞・動名詞		31	自動詞・他動詞		
	14	復習		32	仮定法		
	15	接続詞		33	分詞		
	16	熟語		34	英語記事を読む、単語ゲーム		
	17	前期期末試験		35	後期期末試験		
	18	前期期末試験振り返り		36	後期期末試験振り返り		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

## シラバス

科目名		検定英語Ⅰ		担当 者 名		鈴木良	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授 業 目 的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。					
授 業 概 要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・リスニングのストラテジーを実践を通して身につける。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6		
	2	オリエンテーション2		20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6		
	3	オリエンテーション3		21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7		
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題		22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7		
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)		23	Vocabulary quiz 3		
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)		24	模試4 Q. 1-167		
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2		25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6		
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2		26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6		
	9	Vocabulary exam 1, Part 2		27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7		
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4		28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7		
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4		29	Vocabulary quiz 4		
	12	模試2 Q. 1-167		30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2		
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)		31	TOEIC Vocabulary 0 (26-50)、Part 2		
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6		32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)		
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習		33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却		
	16	Part 3-4		34	確認テスト・まとめ1		
	17	Part 3-4		35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

## シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		和田 みさ	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	試験の返却/解説(前期の振り返り)		
	2	オリエンテーション②		20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		
	3	ガイダンス・導入		21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名		
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名		
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習		
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)		25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	9	〃 (人物・家族の表現)		27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)		28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)		
	11	〃 (趣味の表現)		29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	12	〃 (職業などの表現)		30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	15	前期の復習		33	学年末試験(表出試験)		
	16	前期の復習		34	〃 (読み取り/筆記試験)		
	17	前期末試験(表出試験)		35	試験の返却/解説		
	18	〃 (読み取り/筆記試験)		36	まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

## シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担当 者 名		新井凡子		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義・演習		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間関係を大切にし、サービスのプロフェッショナルとしてふさわしい人材を育てる						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		自分自身を見つめ直し、コミュニケーション能力を向上させる						
授業概要		人間関係に大切な5つの基本項目を軸に、様々な角度から、心のこもったサービスができるようホスピタリティを学ぶ						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション①			19	マナーチェック・サービスにおける6S		
	2	オリエンテーション②			20	話し方・聴き方		
	3	自己分析			21	感動を与えるサービス		
	4	顧客満足			22	顧客心理		
	5	自己分析			23	サービス哲学・フィロソフィー		
	6	人間関係5原則①導入			24	事例研究グループワーク①		
	7	人間関係5原則②挨拶・返事			25	事例研究グループワーク②		
	8	人間関係5原則③身だしなみ			26	事例研究発表①		
	9	人間関係5原則④笑顔・表情			27	事例研究発表②		
	10	人間関係5原則⑤態度・立ち居振舞			28	敬語小テスト・復習		
	11	人間関係5原則⑥言葉遣い			29	ホスピタリティの実践		
	12	接客にふさわしい言葉がけ			30	サービスのプロフェッショナルとは		
	13	敬語ワークシート			31	好印象を与えるビジネスマナー		
	14	言葉がけワークシート			32	テスト前復習		
	15	スピーチ「心に残るサービス」			33	後期期末テスト		
	16	テスト前復習			34	テスト返却		
	17	前期期末テスト			35	振り返り		
	18	テスト返却			36	まとめ		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度		25%				
		レポート		25%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫0%						
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。						



## シラバス

科目名		観光英語 I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)	
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、前期は観光英検3級の取得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		観光英検3級合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		テキストと、リスニング教材を使い、聞く力、観光英語独特の用語の暗記、問題の解きを習得する。各回観光英検過去問を短時間で解く。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	Unit 1 Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 1 Reading, Writing,,Listening			21		
	4	Unit 2 Vocabulary,Conversation,Listening			22		
	5	Unit 2 Reading, Writing,,Listening			23		
	6	Unit 3 Vocabulary,Conversation,Listening			24		
	7	Unit 3 Reading, Writing,,Listening			25		
	8	Unit 4 Vocabulary,Conversation,Listening			26		
	9	Unit 4 Reading, Writing,,Listening			27		
	10	Unit 5 Vocabulary,Conversation,Listening			28		
	11	Unit 5 Reading, Writing,,Listening			29		
	12	Unit 6 Vocabulary,Conversation,Listening			30		
	13	Unit 6 Reading, Writing,,Listening			31		
	14	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			32		
	15	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			33		
	16	Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening			34		
	17	前期期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		外国語検定 I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)		
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、12月には外国語検定合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		外国語検定ブロンズ、シルバー合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		テキストと、リスニング教材を使い、聞く力、観光英語独特の用語の暗記、問題の解きを習得する。各回観光英検過去問を短時間で解く。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	Unit 9 Vocabulary,Conversation,Listening			19		
	2	Unit 10 Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 11 Vocabulary,Conversation,Listening			21		
	4	観光英検3級過去問、Listening			22		
	5	みんなの外国語検定ブロンズ対策① 過去問、Listening			23		
	6	みんなの外国語検定ブロンズ対策② 過去問、Listening			24		
	7	みんなの外国語検定ブロンズ対策③ 過去問、Listening			25		
	8	みんなの外国語検定ブロンズ対策④ 過去問、Listening			26		
	9	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑤ 過去問、Listening			27		
	10	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑥ 過去問、Listening			28		
	11	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑦ 過去問、Listening			29		
	12	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑧ 過去問、Listening			30		
	13	みんなの外国語検定シルバー対策① 過去問、Listening			31		
	14	みんなの外国語検定シルバー対策② 過去問、Listening			32		
	15	みんなの外国語検定シルバー対策③ 過去問、Listening			33		
	16	みんなの外国語検定シルバー対策④ 過去問、Listening			34		
	17	後期期末テスト			35		
	18	テスト返却、解説			36		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		国内観光地理		担 当 者 名		福井 成明	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習、発表	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		日本の観光産業を、観光地を通して学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内各地の地理・歴史・文化・観光資源についての知識を身に付ける。					
授業概要		国内各地の観光素材について、各地の特産品や祭などを交えながら学ぶ。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	テスト返却	
	2	小テスト 都道府県			20	甲信越1	
	3	空港所在地1			21	甲信越2	
	4	空港所在地2			22	東海1	
	5	空港所在地3			23	東海2	
	6	振り返りテスト			24	近畿1	
	7	日本の世界遺産1			25	近畿2	
	8	日本の世界遺産2			26	近畿3	
	9	日本の世界遺産3			27	振り返りテスト	
	10	日本の世界遺産4			28	四国1	
	11	北海道1			29	四国2	
	12	北海道2			30	山陰1	
	13	東北1			31	山陰2	
	14	東北2			32	九州1	
	15	東北3			33	九州2	
	16	関東1			34	九州3	
	17	関東2			35	学年末テスト	
	18	前期末テスト			36	まとめ	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		20年以上航空会社系の旅行会社で勤務。企画手配、カウンターセールス、営業等を経験。					

## シラバス

科目名		ケーススタディⅠ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予見できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要		職場や、日常での事例探究					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①		
	2	オリエンテーション2		20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②		
	3	日常生活に潜む危険①		21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③		
	4	日常生活に潜む危険②		22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④		
	5	日常生活に潜む危険③		23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤		
	6	日常生活に潜む危険④		24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥		
	7	日常生活に潜む危険⑤		25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦		
	8	日常生活に潜む危険⑥		26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①		
	9	日常生活に潜む危険⑦		27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②		
	10	職場に潜む危険①		28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③		
	11	職場に潜む危険②		29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④		
	12	職場に潜む危険③		30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤		
	13	職場に潜む危険④		31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥		
	14	職場に潜む危険⑤		32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦		
	15	職場に潜む危険⑥		33	危険ポイント総復習		
	16	職場に潜む危険⑦		34	期末テスト(口頭試問)		
	17	期末テスト(口頭試問)		35	テストフィードバック		
	18	テストフィードバック		36	年間総括		
成績割合	テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		50%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習・講義		
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)		
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける						
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	自己紹介			19			
	2	自己紹介			20			
	3	講義形式の授業の受け方			21			
	4	実習形式の授業の受け方			22			
	5	インターンシップについて			23			
	6	レポート提出について			24			
	7	レポートの書き方			25			
	8	提出物について			26			
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27			
	10	日直制度について			28			
	11	一般的なドレスアップについて			29			
	12	オフィスカジュアルとは			30			
	13	学内での注意事項			31			
	14	学内でのルール			32			
	15	ワークショップ①			33			
	16	ワークショップ②			34			
	17	ワークショップ③			35			
	18	まとめ			36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		80%				
		レポート・課題		20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)		
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。適宜、グループディスカッションなども行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	進路&業界研究		19			
	2	キャリアビジョンを考える		20			
	3	業界の働く環境		21			
	4	求人票の見方		22			
	5	自己分析①		23			
	6	自己分析②		24			
	7	企業研究の仕方		25			
	8	企業研究①		26			
	9	企業研究②		27			
	10	グループディスカッション①		28			
	11	グループディスカッション②		29			
	12	志望動機の作り方①		30			
	13	志望動機の作り方②		31			
	14	履歴書&ESの書き方①		32			
	15	履歴書&ESの書き方②		33			
	16	企業への連絡マナー		34			
	17	第一印象の重要性		35			
	18	面接練習		36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		トレーイングトラクターを使用しての実習					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	志望動機作成①		19			
	2	志望動機作成②		20			
	3	志望動機添削		21			
	4	自己PR作成①		22			
	5	自己PR作成②		23			
	6	自己PR作成③		24			
	7	自己PR添削		25			
	8	英語面接練習①		26			
	9	英語面接練習②		27			
	10	英語面接練習③		28			
	11	筆記試験対策 国語①		29			
	12	筆記試験対策 国語②		30			
	13	筆記試験対策 社会①		31			
	14	筆記試験対策 社会②		32			
	15	筆記試験対策 社会③		33			
	16	筆記試験対策 英語①		34			
	17	一般常識の試験		35			
	18	面接練習		36			
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		SPIの問題集などを使って行う。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	就職試験とは		19			
	2	SPI対策①(言語)		20			
	3	SPI対策②(言語)		21			
	4	SPI対策③(言語)		22			
	5	SPI対策①(非言語)		23			
	6	SPI対策②(非言語)		24			
	7	SPI対策③(非言語)		25			
	8	集団面接対策講座①		26			
	9	集団面接対策講座②		27			
	10	集団面接対策講座③		28			
	11	グループディスカッション対策①		29			
	12	グループディスカッション対策②		30			
	13	グループディスカッション対策③		31			
	14	個人面接対策①		32			
	15	個人面接対策②		33			
	16	個人面接対策③		34			
	17	SPI試験		35			
	18	各種面接の総復習		36			
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					



## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職業に関しての理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関しても理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。					
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	キャリアとは何か			20		
	3	キャリアデザインに関する理論①			21		
	4	キャリアデザインに関する理論②			22		
	5	キャリアデザインに関する理論③			23		
	6	職業とは			24		
	7	多様な職業を知る			25		
	8	キャリアの振り返り			26		
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27		
	10	パーソナリティ			28		
	11	社会の理解			29		
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30		
	13	多様なキャリア			31		
	14	就職活動に関係するスキル①			32		
	15	就職活動に関係するスキル②			33		
	16	社会において求められる能力			34		
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセプションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について		19			
	2	オリエンテーション2 チームビルディング		20			
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??		21			
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)		22			
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)		23			
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		24			
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		25			
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い		26			
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～		27			
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??		28			
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		29			
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		30			
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		31			
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		32			
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		33			
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		34			
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		35			
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える		36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≦課題解決型学習≧50% R≦実働実践型学習≧10% A≦主体的参加型学習≧20% G≦海外体感型学習≧20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科	エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的	航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??		19		
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??		20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)		21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)		22		
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		23		
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		24		
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		25		
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める		27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める		28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める		29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める		30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル		31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル		32		
	15	最終プレゼン①		33		
	16	最終プレゼン②		34		
	17	まとめ		35		
	18	振り返り		36		
成績割合	テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率		60%			
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		英会話Ⅱ		担当 者 名		Peter Ripley		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期  必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年  必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)			
授 業 目 的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。						
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト						
授 業 概 要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい 学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎 から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の 教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	Units 7/8 Lesson A		
	2	オリエンテーション2			20	Units 7/8 Lesson B		
	3	オリエンテーション3			21	Units 7/8 Lesson C		
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Test 7/8		
	5	Units 1/2 Lesson B			23	Test 7/8		
	6	Units 1/2 Lesson C			24	Units 9/10 Lesson A		
	7	Test 1/2			25	Units 9/10 Lesson B		
	8	Test 1/2			26	Units 9/10 Lesson C		
	9	Units 3/4 Lesson A			27	Test 9/10		
	10	Units 3/4 Lesson B			28	Test 9/10		
	11	Units 3/4 Lesson C			29	Units 11/12 Lesson A		
	12	Test 3/4			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。		
	13	Test 3/4			31	Units 11/12 Lesson C		
	14	Units 5/6 Lesson A			32	Test 11/12		
	15	Units 5/6 Lesson B			33	Test 11/12		
	16	Units 5/6 Lesson C			34	確認テスト・まとめ1		
	17	Test 5/6			35	確認テスト・まとめ2		
	18	Test 5/6			36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		75%	学習FB方法		前期・後期に成績表配布	
		学習態度		25%				
		レポート		0%	成績評価		会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10%   R≪実働実践型学習≫30%   A≪主体的参加型学習≫30%   G≪海外体感型学習≫30%						
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。						

## シラバス

科目名		検定英語Ⅱ		担当 者 名		鈴木良	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6		
	2	オリエンテーション2		20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6		
	3	オリエンテーション3		21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7		
	4	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)		22	Vocabulary exam 7		
	5	模試5 Q. 1-167		23	模試10 Q. 1-167		
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2		24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6		
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6		25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6		
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6		26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7		
	9	Vocabulary exam 5		27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7		
	10	模試7 Q. 1-167		28	Vocabulary exam 8		
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2		29	模試11 Q. 1-167		
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6		30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6		
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6		31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6		
	14	模試8 Q. 1-167		32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)		
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6		33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却		
	16	Vocabulary exam 6		34	確認テスト・まとめ1		
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6		35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

## シラバス

科目名		接遇手話Ⅱ		担 当 者 名		仲野 裕子	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		①聴覚障がいについて理解を深める ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への応対技術を学ぶ。					
授業概要		聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。 聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	試験の返却/解説(前期の振り返り)		
	2	オリエンテーション②		20	日常会話/例文練習(友人との会話)		
	3	オリエンテーション③		21	" (国名・観光地の表現)		
	4	基本の復習と確認(自己紹介・指文字/数字等の復習)		22	接遇手話(建物内での案内 トイレ/非常口)		
	5	基本の復習と確認(疑問詞を使った会話の復習)		23	" (窓口での会話 旅行会社/ホテル)		
	6	"		24	" (レストランでの接客 注文/レジ等)		
	7	"		25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		
	8	接遇手話(接遇に関する単語)		26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	9	" (接客での会話練習)		27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	10	"		28	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)		
	11	"		29	1年間の総復習①		
	12	地名の復習(都道府県の表現を含んだ会話練習)		30	1年間の総復習②		
	13	"		31	1年間の総復習③		
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		32	1年間の総復習④		
	15	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		33	学年末試験(表出試験)		
	16	前期の復習		34	" (読み取り/筆記試験)		
	17	前期の復習		35	試験の返却/解説		
	18	前期末試験(表出試験)		36	まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

## シラバス

科目名		観光英語Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)		
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。						
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19			
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20			
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21			
	4	U2 Listening,過去問			22			
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23			
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24			
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25			
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26			
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27			
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28			
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29			
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30			
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31			
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32			
	15	Review,Lis.過去問			33			
	16	復習			34			
	17	前期期末テスト			35			
	18	テスト返却、解説			36			
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度		30%				
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。						

## シラバス

科目名		外国語検定Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)			
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。						
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			19			
	2	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			20			
	3	U10 Culture Experience in Japan 1			21			
	4	U11 Culture Experience in Japan 2			22			
	5	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			23			
	6	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			24			
	7	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			25			
	8	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			26			
	9	U14 Dealing with complaints & Accidents			27			
	10	U14 Dealing with complaints & Accidents			28			
	11	U15 Upon Departure			29			
	12	みんなの外国語検定対策① 過去問、Listening			30			
	13	みんなの外国語検定対策② 過去問、Listening			31			
	14	みんなの外国語検定対策③ 過去問、Listening			32			
	15	みんなの外国語検定対策④ 過去問、Listening			33			
	16	後期期末テスト			34			
	17	テスト返却、解説			35			
	18	振り返り まとめ			36			
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度		30%				
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。						



## シラバス

科目名		エアポートプレゼンテーション		担当者名		中川文康	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義と実践形式演習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		基本に忠実なプレゼン技法の習得を通じて、コミュニケーションの質を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼン資料作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションを実践できるようにする					
授業概要		①コミュニケーション強化の個人目標設定 ②プレゼンテーションの本質を理解する ③資料作成技術修得 ④話し方・表現等の技術修得					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション＋FB協議		19	新規の個人別演習課題目標設定		
	2	自己紹介の要点と技術＋小演習		20	新規の個人別演習課題目標設定		
	3	プレゼンテーションとは		21	資料作成		
	4	プレゼンテーション・マインド＋小演習		22	資料作成		
	5	プレゼンテーション・マインド＋小演習		23	資料作成		
	6	プレゼンの準備と戦略＋小演習		24	資料作成		
	7	プレゼンの準備と戦略＋小演習		25	資料作成(個人指導)		
	8	資料作成の要点(1)＋作成実習		26	資料作成(個人指導)		
	9	資料作成の要点(2)＋作成実習		27	資料作成(個人指導)		
	10	実践実技の要点＋話し方実習		28	資料作成(個人指導)		
	11	実践実技の要点＋話し方実習		29	実践発表		
	12	個人別演習課題 資料作成		30	実践発表		
	13	個人別演習課題 資料作成		31	実践発表		
	14	個人別演習課題 資料作成		32	実践発表		
	15	個人別演習課題 資料作成仕上げ		33	期末試験(レポート記述＋提出)		
	16	個人別演習課題 資料作成 提出		34	試験返却		
	17	期末試験(レポート記述＋提出)		35	まとめ		
	18	試験返却		36	振り返り討議		
成績割合		テスト(提出資料内容)		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		プレゼンテーション及びコミュニケーション技術の企業研修講師として10年のキャリアを活かし、学生が興味を持って取り組めるプログラムと演習課題で学ぶ動機づけを継続させ、人前で話すことに自信をつけさせる。					

## シラバス

科目名		アマデウス実習Ⅱ		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数		72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	前期復習	
	2	オリエンテーション②			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション③			21	PNRのコピー、変更	
	4	国際線への導入			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	テスト返却 解説	
	16	検定対策①			34	まとめ①	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	まとめ②	
	18	検定対策③			36	まとめ③	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		検定		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		車両実習Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習形式	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選		前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要なトーイングトラクターの運転技術の修得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		空港で一番台数が多く、航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要不可欠なトーイングトラクターを運転する。そして、操作スキルの修得を目指す。					
授業概要		トーイングトラクターを使用しての実習					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	車両応用①(牽引走行)	
	2	オリエンテーション②			20	車両応用②(牽引走行)	
	3	トーイングトラクターの特性			21	車両応用③(牽引走行)	
	4	始業前点検			22	車両応用④(牽引走行)	
	5	車両運転①(前進・後進)			23	車両応用⑤(スラローム走行)	
	6	車両運転②(前進・後進)			24	車両応用⑥(スラローム走行)	
	7	車両運転③(前進・後進)			25	車両応用⑦(スラローム走行)	
	8	車両運転④(スラローム)			26	車両応用⑧(スラローム走行)	
	9	車両運転⑤(スラローム)			27	車両応用⑨(牽引バック走行)	
	10	車両運転⑥(スラローム)			28	車両応用⑩(牽引バック走行)	
	11	車両運転⑦(スラローム)			29	車両応用⑪(牽引バック走行)	
	12	車両運転⑧(幅寄せ)			30	車両応用⑫(牽引バック走行)	
	13	車両運転⑨(幅寄せ)			31	車両応用⑬(牽引バック走行)	
	14	車両運転⑩(幅寄せ)			32	車両応用⑭(牽引バック走行)	
	15	車両運転⑪(幅寄せ)			33	車両応用⑮(牽引バック走行)	
	16	車両運転⑫(幅寄せ)			34	実技試験	
	17	実技試験			35	フィードバック	
	18	フィードバック			36	まとめ	
成績割合		実技テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		航空会社のグラウンドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		パソコン実習Ⅱ		担当 者 名		千葉 輝子	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	スライドの作成 グラフ			22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	中間試験 プレゼン発表			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			30	〃	
	13	表作成課題(四則演算/表の装飾)			31	〃	
	14	〃			32	〃	
	15	〃			33	〃	
	16	前期期末試験			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験の解答解説			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		フィジカルトレーニングⅡA		担 当 者 名		小池 太		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		実技		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)		
授業目的		健康な心身と生涯スポーツの楽しさを学ぶ。他者と協力して課題を解決する力を養う。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		グループにおける実技を通して、他者との関わりの中で自分の役割を確認することで、自己の成長を培う。自主的に参加することで、積極的に問題を解決し仲間と協力して成し遂げることで達成感を得る。						
授業概要		社会人になる為の準備としての、グループでの行動や協力を促す為のアイスブレイクや、アクティブラーニングに見られる積極的な活動参加による問題解決が行われる活動(ASE)を取り入れ、社会人になった後も、quality of lifeを意識した、個々の健康を維持できるような生涯スポーツやレクリエーションスポーツの導入を行う。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション1			19			
	2	アイスブレイク (個人または少人数で参加できる活動)			20			
	3	アイスブレイク(グループで参加できる活動)			21			
	4	イニシアティブゲーム (コミュニケーション・協力を促す)			22			
	5	イニシアチブゲーム (自己開示・グループ対抗)			23			
	6	イニシアティブゲーム (他者との関係を促す)			24			
	7	レクリエーションスポーツ (インディアカ・ユニホック)			25			
	8	レクリエーションスポーツ (バウンズボール・アルティメット)			26			
	9	レクリエーションスポーツ (ソフトバレーボール・ポートボール)			27			
	10	ウォーミングアップとクールダウン			28			
	11	生涯スポーツ (バドミントン・卓球)			29			
	12	生涯スポーツ (バスケットボール:ミニゲーム)			30			
	13	生涯スポーツ(タッチバレーボール)			31			
	14	生涯スポーツ(創作ダンス)			32			
	15	生涯スポーツ(創作ダンス)			33			
	16	生涯スポーツ(フットサル)			34			
	17	競技スポーツ(バレーボール)			35			
	18	競技スポーツ(バスケットボール)			36			
成績割合		テスト・実技		25%	学習FB方法	授業中の課題に対するソフトコメント		
		学習態度		25%				
		出席率		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%						
講師プロフィール		生活の質の向上には生涯スポーツは大きな役割を持っています。健康の維持促進、社会に出た時に協力して問題を解決する力を、フィットネスの実技を通して楽しみながら学習しましょう。						

## シラバス

科目名		海外観光地理		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	世界の食事情		
	2	世界の国々と首都		20	世界の行事・イベント		
	3	世界遺産		21	世界のテーマパーク		
	4	世界遺産		22	世界の空港		
	5	オーストラリア・ニュージーランド		23	地域研究概論(各地の空港と観光地)		
	6	太平洋の島々		24	地域研究 ヨーロッパ1		
	7	アメリカ		25	地域研究 ヨーロッパ2		
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー		26	地域研究 ヨーロッパ3		
	9	欧) 全体の地勢		27	地域研究 北アメリカ		
	10	欧) 英・仏・伊		28	地域研究 北アメリカ2		
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー・中欧諸国		29	地域研究 東南アジア1		
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ		30	地域研究 東南アジア2		
	13	欧) 北欧諸国・ロシア		31	地域研究 中国		
	14	中国		32	地域研究 オセアニア		
	15	台湾、香港、韓国		33	地域研究 太平洋の島々		
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン		34	地域研究 オセアニア		
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国		35	地域研究 中近東・アフリカ		
	18	確認テスト・まとめ1		36	確認テスト・まとめ2		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		社会人基礎力の育成					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人基礎力の育成し、社会人となる					
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	後期概要		
	2	オリエンテーション2		20	学院祭学科イベント立案・役割分担		
	3	目的目標設定について		21	学院祭準備		
	4	クラス目標設定		22	学院祭準備		
	5	個人目標設定		23	学院祭準備		
	6	就職対策1		24	学院祭準備		
	7	就職対策2		25	学院祭準備		
	8	就職対策3		26	学院祭準備		
	9	学院祭 クラス企画話し合い		27	学院祭振り返り		
	10	学院祭 クラス企画決定		28	社会人講座 働くことの意味		
	11	主体性について		29	社会人講座 コミュニケーション		
	12	チームワークについて		30	社会人講座 マナー		
	13	夏期特別講座概要		31	卒業作品展立案・役割分担		
	14	学院祭について		32	卒業作品展準備		
	15	学院祭について		33	卒業作品展準備		
	16	学院祭について		34	卒業作品展準備		
	17	個人目標再設定		35	卒業作品展振り返り		
	18	前期総括		36	年間総括		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		ケーススタディⅡ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予見できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要		職場や、日常での事例探究					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①		
	2	オリエンテーション2		20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②		
	3	日常生活に潜む危険①		21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③		
	4	日常生活に潜む危険②		22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④		
	5	日常生活に潜む危険③		23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤		
	6	日常生活に潜む危険④		24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥		
	7	日常生活に潜む危険⑤		25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦		
	8	日常生活に潜む危険⑥		26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①		
	9	日常生活に潜む危険⑦		27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②		
	10	職場に潜む危険①		28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③		
	11	職場に潜む危険②		29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④		
	12	職場に潜む危険③		30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤		
	13	職場に潜む危険④		31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥		
	14	職場に潜む危険⑤		32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦		
	15	職場に潜む危険⑥		33	危険ポイント総復習		
	16	職場に潜む危険⑦		34	期末テスト(口頭試問)		
	17	期末テスト(口頭試問)		35	テストフィードバック		
	18	テストフィードバック		36	年間総括		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	50%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					



## シラバス

科目名		ビジネスマナー		担当 者 名		相川奏恵	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客 への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19	テスト返却と前期の振り返り		
	2	オリエンテーション②		20	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)		
	3	コミュニケーション①		21	配慮の必要な方へのお手伝い		
	4	コミュニケーション②		22	バリアフリーとノーマライゼーション		
	5	ストローク		23	顧客満足とホスピタリティ		
	6	電話応対①		24	空間心理①		
	7	電話応対②		25	空間心理②		
	8	電話応対③		26	顧客心理①		
	9	好感もてる話し方・感じの良い聞き方		27	顧客心理②		
	10	来客応対と会話の仕方		28	クレーム対応①		
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方		29	クレーム対応②		
	12	訪問時のマナーと名刺交換		30	会社組織と協働		
	13	アポイントと訪問		31	指示・命令の受け方と報連相		
	14	ビジネス文書(社外)①		32	PDCAサイクル		
	15	ビジネス文書(社外)②		33	自己啓発と自己管理		
	16	ビジネス文書(社内・社交)①		34	期末テスト		
	17	ビジネス文書(社内・社交)②		35	テスト返却と1年の振り返り		
	18	前期期末テスト		36	まとめ		
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	レポート添削・実習個別評価とアドバイス 復習確認ワークシート・定期テスト解説 前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

## シラバス

科目名		航空機概論		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義、演習など		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。						
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義			19	航空力学①		
	2	ドローンに関わる法令について			20	航空力学②		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について ①			21	航空機構造、材料		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について			22	航空機原動機、航空装備①		
	5	管制官の業務・用語について			23	航空機原動機、航空装備②		
	6	管制官の業務・用語について			24	航空法①		
	7	客室乗務員の資格や業務について①			25	航空法②		
	8	整備士の資格や業務について①			26	航空気象①		
	9	整備士の資格や業務について②			27	航空気象②		
	10	パイロットの資格や業務について①			28	操縦方法①		
	11	パイロットの資格や業務について②			29	操縦方法②		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①			30	航空管制①		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②			31	航空管制②		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①			32	空港、航空保安施設①		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②			33	空港、航空保安施設②		
	16	総復習			34	航空安全、航空関連職業知識 基礎的な航空一般常識の復習		
	17	定期試験			35	定期試験		
	18	試験返却、フィードバック			36	試験返却、フィードバック		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率		20%				
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

科目名		Japanese Culture II		担 当 者 名		Gary	
学科		エアポートサービス科 エアポートビジネスコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	世界遺産		
	2	オリエンテーション2		20	京都		
	3	オリエンテーション3		21	京都の世界遺産		
	4	イントロダクション		22	和風建築		
	5	日本について知っていること		23	日本の家屋・古民家		
	6	日本の各時代		24	江戸建物		
	7	時代についてプレゼンテーション		25	江戸建物・博物館		
	8	鎌倉時代		26	スピーチの準備		
	9	鎌倉の建築物		27	スピーチの練習		
	10	鎌倉のプレゼンテーション1		28	クラスでスピーチ披露		
	11	鎌倉のプレゼンテーション2		29	モダン日本文化・ポップカルチャー		
	12	日本食		30	最後のスピーチ		
	13	日本食プレゼンテーション		31	テストの説明		
	14	日本の夏		32	クラスでスピーチ		
	15	日本の祭り		33	期末テスト		
	16	祭りとテストの説明		34	確認テスト・まとめ1		
	17	祭りのプレゼンテーション		35	確認テスト・まとめ2		
	18	期末テスト		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		30%				
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		長年、日本でも語学教育に携わっている。 イギリス人であるが、日本を愛し、日本の文化に精通している。					

## シラバス

科目名		英会話 I		担当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)	
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。 英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい 学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をととして、英語を基礎 から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の 教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。	
	2	オリエンテーション2			20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。	
	3	オリエンテーション3			21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。	
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問			22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	5	Present Tense 現在形を練習します。			23	Making small talk. 雑談できるように学びます。	
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学びます。			24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。	
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。			25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。	
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。			26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。			27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。	
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。			28	Travel manners and safety. 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。			29	Making requests. お願いの仕方について学びます。	
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックイン について学びます。			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明できるよう学びます。	
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。			31	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。			32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、ス ポーツなど自分が好きな事を話します。			33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う理由を説明する英語を学びます。	
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。			35	確認テスト・まとめ2	
18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。			36	確認テスト・まとめ3		
成 績 割 合	テスト		50%	学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		50%				
	レポート		0%	成 績 評 価	授業全体を100点満点をして採点する。 定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点か ら成績評価を行う。		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習形式	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36 時 間 (週講時数 1)
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などに自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定	
	2	職業を得るとはどういうことか考える			20	テクノスノートを使用し、明確にする	
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える			21	目標達成するための工夫をディスカッションする	
	4	今年度の目標を設定する			22	成長した部分の確認	
	5	目標達成のための計画をつくる			23	工夫を今後活かす	
	6	計画を実行するためには?? メンター制度			24	マナープロトコル検定に向けて	
	7	お互いに観察し、振り返りを共有			25	マナープロトコル検定 模擬試験①	
	8	学修機会の再確認			26	マナープロトコル検定 模擬試験②	
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27	マナープロトコル勉強会	
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は			28	マナープロトコル勉強会	
	11	事前プレゼンテーション			29	フィールドワーク② 内容を決める	
	12	実際に探求、体験、その成果検証			30	事前プレゼンテーション	
	13	報告プレゼンテーション準備			31	フィールドワーク	
	14	プレゼンテーション			32	報告プレゼンテーション準備①	
	15	プレゼンテーション			33	報告プレゼンテーション	
	16	振り返りスピーチ			34	報告プレゼンテーション	
	17	振り返りスピーチ			35	振り返りスピーチ	
	18	まとめ			36	まとめ	
成績割合		テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		パソコン実習 I		担当 者 名		深井 妙子	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		実 習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	科目ガイダンス			19	図の挿入/図形の描画	
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本			20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	タイピング練習/文字入力の基本			21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	ビジネス文書の書き方			22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)			23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)			24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	7	ビジネスメールの書き方			25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	8	ビジネスメール課題			26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	9	表作成の基本			27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6	
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)			28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)			29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)			30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)			31	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)			32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)			33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6	
	16	前期期末試験			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験の解答解説			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		海外実務 I		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		海外旅行に役立つ知識を習得する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行についての理解を深め、教養を深める					
授業概要		時差の知識や航空、鉄道などの交通機関を勉強し、海外でのホテルや食事の知識を深める					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19		
	2	世界時差の研究と解説			20		
	3	国別による時差と計算方法			21		
	4	時刻表での国際線知識			22		
	5	各航空便での所要時間計算			23		
	6	OAG航空便時刻表研究①			24		
	7	OAG航空便時刻表研究②			25		
	8	都市コードの研究			26		
	9	世界の鉄道についての知識			27		
	10	ヨーロッパの鉄道			28		
	11	世界鉄道時刻表の解説			29		
	12	船舶、航路の研究			30		
	13	ホテルに関する解説①			31		
	14	ホテルに関する解説②			32		
	15	食事県警の研究と解説①			33		
	16	食事県警の研究と解説②			34		
	17	期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説 まとめ			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート・課題		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習 ≧20% R≪実働実践型学習 ≧0% A≪主体的参加型学習 ≧50% G≪海外体感型学習 ≧30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					

## シラバス

科目名		運送・宿泊約款		担当 者 名		辻 阪 昭 浩	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必 修 選 択	授 業 時 間 数		18時間(週講時数 1)
授業目的		航空運送の知識を深める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		将来の職場、航空、空港、関連事業での知識を深める					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作を学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19			
	2	国際旅客運送約款解説		20			
	3	定義、用語解説①		21			
	4	定義、用語解説②		22			
	5	コードシェア便・航空券		23			
	6	途中降機・運賃・経路		24			
	7	予約関係解説		25			
	8	手荷物関係解説		26			
	9	払い戻し・機内食関係		27			
	10	国内旅客運送約款解説		28			
	11	定義・用語解説		29			
	12	航空券の知識		30			
	13	運賃・料金の解説①		31			
	14	運賃・料金の解説②		32			
	15	手荷物関係解説		33			
	16	会社や旅客の責任限度		34			
	17	期末テスト		35			
	18	テスト返却 解説 まとめ		36			
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート・小テスト		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		キャセイパシフィック航空で勤務。その後、自ら旅行会社を経営している。					



## シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作を学習後、 練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、 ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK、オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		グランドスタッフ概論Ⅰ		担 当 者 名		小池 はるか	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、実践など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事柄やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	航空業界の概要 ①		19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①		
	2	航空業界の概要 ②		20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②		
	3	空港業務 ①		21	発券業務 ①		
	4	空港業務 ②		22	発券業務 ②		
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①		23	チェックイン実践 ①		
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②		24	チェックイン実践 ②		
	7	顧客案内 ①		25	到着業務 ①		
	8	顧客案内 ②		26	到着業務 ②		
	9	チェックイン業務 ①		27	到着業務 ③		
	10	チェックイン業務 ②		28	到着顧客案内実践 ①		
	11	チェックイン実践 ①		29	到着顧客案内実践 ②		
	12	チェックイン実践 ②		30	到着顧客案内実践 ③		
	13	チェックイン実践 ③		31	期末テスト ①		
	14	出発業務(出入国規定) ①		32	期末テスト ②		
	15	出発業務(出入国規定) ②		33	テスト返却 解説		
	16	期末テスト ①		34	まとめ ①		
	17	期末テスト ②		35	まとめ ②		
	18	テスト返却 解説		36	振り返り		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					

## シラバス

科目名		エアポート概論 I		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	36 時 間 (週講時数 1)		
授業目的		エアライン業界で必要な知識を備える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。					
授業概要		空港における業務全体を理解する為、グランドサービス・グランドハンドリング・エアカーゴの各業務について、基礎的な業務知識の理解を深める。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	OAG① OAGの見方、引き方		
	2	空港業務について		20	OAG② 時差計算など		
	3	国内3レター・2レター		21	航空危険品 危険品について①		
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど		22	航空危険品 危険品について②		
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックなど		23	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど①		
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①		24	空港について 空港の種類・機能施設・駐機エリアなど②		
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター		25	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について①		
	8	確認テスト		26	GSE機材や特殊車両 特殊車両やGSE機材について②		
	9	テスト返却 解説		27	カスタマーサティスファクション CSIについて、影響や取組みなど①		
	10	グランドハンドリングについて① B/I～B/Oまでの機側業務について		28	カスタマーサティスファクション CSIについて、影響や取組みなど②		
	11	グランドハンドリングについて② B/I～B/Oまでの機側業務について		29	カスタマーサティスファクション CSIについて、影響や取組みなど③		
	12	SHIP TYPについて①		30	日本の航空会社について 企業理念など①		
	13	SHIP TYPについて①		31	日本の航空会社について 企業理念など②		
	14	安全について① テネリフェの悲劇		32	海外の航空会社について 企業理念など①		
	15	安全について② テネリフェの悲劇		33	海外の航空会社について 企業理念など①		
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」		34	総復習		
	17	前期試験		35	期末試験		
	18	試験返却 解説		36	試験返却 解説 まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択		授 業 時 間 数	36 時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って?? (観光系教員)			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??(玄顧問or桶舎氏)			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットイングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットイングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講義、演習、実習など		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期	後 期	通 年	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
				必 修 ・ 選 択		必修選択		
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。						
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19			
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20			
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			21			
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			22			
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			23			
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24			
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25			
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26			
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27			
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28			
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29			
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30			
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31			
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32			
	15	最終プレゼン①			33			
	16	最終プレゼン②			34			
	17	まとめ			35			
	18	振り返り			36			
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率		60%				
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		話  し  方		担  当  者  名		東真理	
学  科		エアポートサービス科 大学コース		授  業  方  法		講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開  講  期 必・選	前  期 ・ 後  期 ・ 通  年 必  修 ・ 選  択	必修選択	授  業  時  間  数	36時間(週講時数1)	
授  業  目  的		コミュニケーション能力を高め、人前で自分の意見を堂々と言えるようにする。					
授  業  目  標 (ラーニング アウトカムズ)		ボイストレーニング、様々なテーマでのスピーチ、グループディスカッション等を行うことにより、人に伝わる説得力のある話し方を身につける。					
授  業  概  要		話し方の技術として、声の出し方、アイコンタクトの取り方、話の組み立てなどを学ぶ座学と、実際に人前でスピーチする実技を共に行う。					
授  業  計  画  表	授  業  内  容			授  業  内  容			
	1	年間予定と「話し方」についての説明。 挨拶・返事の仕方等の指導。講師紹介。		19	時事についてのスピーチ①		
	2	自己紹介のスピーチ		20	時事についてのスピーチ②		
	3	基礎レッスン・ボイストレーニング①		21	時事についてのスピーチ③		
	4	基礎レッスン・ボイストレーニング②		22	表現練習・朗読①		
	5	他己紹介のスピーチ①		23	表現練習・朗読②		
	6	他己紹介のスピーチ②		24	表現練習・朗読③		
	7	グループディスカッション①		25	表現練習・朗読④		
	8	グループディスカッション②		26	グループディスカッション・ディベート①		
	9	基礎レッスン・ボイストレーニング③		27	グループディスカッション・ディベート②		
	10	敬語①		28	グループディスカッション・ディベート③		
	11	敬語②		29	グループディスカッション・ディベート④		
	12	敬語③		30	グループ模擬面接①		
	13	アイコンタクト等表現練習①		31	グループ模擬面接②		
	14	アイコンタクト等表現練習②		32	グループ模擬面接③		
	15	基礎レッスン・ボイストレーニング④		33	学年末スピーチテスト		
	16	前期末スピーチテスト		34	学年末スピーチテスト		
	17	前期末スピーチテスト		35	テスト振り返り		
	18	テスト振り返り		36	年間のまとめ		
成  績  割  合	テスト		50%	学  習  F B  方  法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		40%				
	レポート		10%	成  績  評  価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫						
講  師  プ ロ フ ィ ル	(有)「スターダス・21」所属俳優、映像・舞台・声・CM等出演／タレント養成所講師 (株)「話し方研究所」認定インストラクター講師						

科目名		Grammar I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択	・通 年 ・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		単語や熟語は毎回小テストを実施する。文法は問題を解きながら、解説していく。学生がわかりにくいところは理解できるまで例文を交えて、説明する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明		19	前置詞		
	2	品 詞		20	関係詞		
	3	代名詞		21	分 詞		
	4	比 較		22	復 習		
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句		23	時制と代名詞		
	6	復 習		24	つなぎ言葉		
	7	単語試験1、英字新聞を読む		25	語 法		
	8	時制1		26	ボキャブラリー1		
	9	時制2		27	ボキャブラリー2		
	10	受動態		28	ニュースを読む		
	11	能動態		29	関係代名詞1		
	12	主語と述語の一致		30	関係代名詞2		
	13	不定詞・動名詞		31	自動詞・他動詞		
	14	復 習		32	仮定法		
	15	接続詞		33	分 詞		
	16	熟 語		34	英語記事を読む、単語ゲーム		
	17	前期期末試験		35	後期期末試験		
	18	前期期末試験振り返り		36	後期期末試験振り返り		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

## シラバス

科目名		検定英語Ⅰ		担当者名		鈴木良	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・リスニングのストラテジーを実践を通して身につける。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7	
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題			22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7	
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)			23	Vocabulary quiz 3	
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)			24	模試4 Q. 1-167	
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2			25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2			26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6	
	9	Vocabulary exam 1, Part 2			27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7	
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4			28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7	
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4			29	Vocabulary quiz 4	
	12	模試2 Q. 1-167			30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2	
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)			31	TOEIC Vocabulary 0 (26-50)、Part 2	
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6			32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)	
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習			33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却	
	16	Part 3-4			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Part 3-4			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					



## シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担 当 者 名		和田 みさ		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義・実技		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。						
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)		
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名		
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名		
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習		
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)		
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)		
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)		
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説		
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ		
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率		20%				
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%						
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。						

## シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		新井凡子	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間関係を大切にし、サービスのプロフェッショナルとしてふさわしい人材を育てる					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		自分自身を見つめ直し、コミュニケーション能力を向上させる					
授業概要		人間関係に大切な5つの基本項目を軸に、様々な角度から、心のこもったサービスができるようホスピタリティを学ぶ					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	マナーチェック・サービスにおける6S		
	2	オリエンテーション②		20	話し方・聴き方		
	3	自己分析		21	感動を与えるサービス		
	4	顧客満足		22	顧客心理		
	5	自己分析		23	サービス哲学・フィロソフィー		
	6	人間関係5原則①導入		24	事例研究グループワーク①		
	7	人間関係5原則②挨拶・返事		25	事例研究グループワーク②		
	8	人間関係5原則③身だしなみ		26	事例研究発表①		
	9	人間関係5原則④笑顔・表情		27	事例研究発表②		
	10	人間関係5原則⑤態度・立ち居振舞		28	敬語小テスト・復習		
	11	人間関係5原則⑥言葉遣い		29	ホスピタリティの実践		
	12	接客にふさわしい言葉がけ		30	サービスのプロフェッショナルとは		
	13	敬語ワークシート		31	好印象を与えるビジネスマナー		
	14	言葉がけワークシート		32	テスト前復習		
	15	スピーチ「心に残るサービス」		33	後期期末テスト		
	16	テスト前復習		34	テスト返却		
	17	前期期末テスト		35	振り返り		
	18	テスト返却		36	まとめ		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		25%				
	レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。					

## シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、前期は観光英検3級の取得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		観光英検3級合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		テキストと、リスニング教材を使い、聞く力、観光英語独特の用語の暗記、問題の解きを習得する。各回観光英検過去問を短時間で解く。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	Unit 1 Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 1 Reading, Writing,,Listening			21		
	4	Unit 2 Vocabulary,Conversation,Listening			22		
	5	Unit 2 Reading, Writing,,Listening			23		
	6	Unit 3 Vocabulary,Conversation,Listening			24		
	7	Unit 3 Reading, Writing,,Listening			25		
	8	Unit 4 Vocabulary,Conversation,Listening			26		
	9	Unit 4 Reading, Writing,,Listening			27		
	10	Unit 5 Vocabulary,Conversation,Listening			28		
	11	Unit 5 Reading, Writing,,Listening			29		
	12	Unit 6 Vocabulary,Conversation,Listening			30		
	13	Unit 6 Reading, Writing,,Listening			31		
	14	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			32		
	15	Unit 7 Reading, Writing,,Listening			33		
	16	Unit 8 Vocabulary, Conversation, Listening			34		
	17	前期期末テスト			35		
	18	テスト返却 解説			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		外国語検定 I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)		
授業目的		就職後に使える観光に関する英語(知識、語彙、会話力、リスニング力)を習得するとともに、12月には外国語検定合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		外国語検定ブロンズ、シルバー合格を目指し、聞く力をつける。					
授業概要		演習を通じて、OAG・TACT Rateを始め、TACT Ruleの検索能力を高め、 自己解決能力を身に付ける。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	Unit 9 Vocabulary,Conversation,Listening			19		
	2	Unit 10Vocabulary,Conversation,Listening			20		
	3	Unit 11Vocabulary,Conversation,Listening			21		
	4	観光英検3級過去問、Listening			22		
	5	みんなの外国語検定ブロンズ対策① 過去問、Listening			23		
	6	みんなの外国語検定ブロンズ対策② 過去問、Listening			24		
	7	みんなの外国語検定ブロンズ対策③ 過去問、Listening			25		
	8	みんなの外国語検定ブロンズ対策④ 過去問、Listening			26		
	9	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑤ 過去問、Listening			27		
	10	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑥ 過去問、Listening			28		
	11	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑦ 過去問、Listening			29		
	12	みんなの外国語検定ブロンズ対策⑧ 過去問、Listening			30		
	13	みんなの外国語検定シルバー対策① 過去問、Listening			31		
	14	みんなの外国語検定シルバー対策② 過去問、Listening			32		
	15	みんなの外国語検定シルバー対策③ 過去問、Listening			33		
	16	みんなの外国語検定シルバー対策④ 過去問、Listening			34		
	17	後期期末テスト			35		
	18	テスト返却、解説			36		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		ディプロマ対策基礎		担 当 者 名		和田 彰	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講義・演習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数4)	
授業目的		ディプロマ教材を学習することにより全員合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期は演習を通じて国際航空貨物輸送、後期は危険物取扱の基礎的知識の習得。					
授業概要		演習を通じて、OAG・TACT Rateを始め、TACT Ruleの検索能力を高め、 自己解決能力を身に付ける。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	飛行時間		
	2	国際線時刻表の見方、及びFlightの種類		20	航空会社の受託・積み付け・搭載業務等①		
	3	IATAコード、時差等の計算方法		21	航空会社の受託・積み付け・搭載業務等②		
	4	寸法・重量の端数処理、及び運賃の種類		22	航空危険物の取扱いー目に見えない危険物①		
	5	運賃計算①		23	航空危険物の取扱いー目に見えない危険物②		
	6	運賃計算②		24	航空危険物の取扱いー輸送環境		
	7	従価料金・立替手数料等		25	航空危険物の取扱いー危険物リストの見方		
	8	貨物の受託条件		26	航空危険物の取扱いー包装物のマーク&ラベル		
	9	貨物予約方法・搭載優先品目		27	航空危険物の取扱いー演習①		
	10	航空運送状の作成		28	航空危険物の取扱いー演習②		
	11	航空機の特性及び搭載の条件①		29	航空危険物の取扱いー演習③		
	12	航空機の特性及び搭載の条件②		30	運送状作成①		
	13	国際機関の機能・役割等		31	運送状作成②		
	14	IATA代理店及び混載業者の機能・役割等		32	国内主要空港の実績及び特徴①		
	15	運賃計算③		33	国内主要空港の実績及び特徴②		
	16	運賃計算④		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	年間のまとめ		
成績割合	テスト		80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		10%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		40年間の実務経験、及び10年以上のJAFADIPLOMA講師					

## シラバス

科目名		国内観光地理		担 当 者 名		福井 成明		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習、発表		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		日本の観光産業を、観光地を通して学ぶ						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内各地の地理・歴史・文化・観光資源についての知識を身に付ける。						
授業概要		国内各地の観光素材について、各地の特産品や祭などを交えながら学ぶ。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション			19	テスト返却		
	2	小テスト 都道府県			20	甲信越1		
	3	空港所在地1			21	甲信越2		
	4	空港所在地2			22	東海1		
	5	空港所在地3			23	東海2		
	6	振り返りテスト			24	近畿1		
	7	日本の世界遺産1			25	近畿2		
	8	日本の世界遺産2			26	近畿3		
	9	日本の世界遺産3			27	振り返りテスト		
	10	日本の世界遺産4			28	四国1		
	11	北海道1			29	四国2		
	12	北海道2			30	山陰1		
	13	東北1			31	山陰2		
	14	東北2			32	九州1		
	15	東北3			33	九州2		
	16	関東1			34	九州3		
	17	関東2			35	学年末テスト		
	18	前期末テスト			36	まとめ		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度		30%				
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		20年以上航空会社系の旅行会社で勤務。企画手配、カウンターセールス、営業等を経験。						

## シラバス

科目名		ケーススタディⅠ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予見できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要		職場や、日常での事例探究					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①	
	2	オリエンテーション2			20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②	
	3	日常生活に潜む危険①			21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③	
	4	日常生活に潜む危険②			22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④	
	5	日常生活に潜む危険③			23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤	
	6	日常生活に潜む危険④			24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥	
	7	日常生活に潜む危険⑤			25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦	
	8	日常生活に潜む危険⑥			26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①	
	9	日常生活に潜む危険⑦			27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②	
	10	職場に潜む危険①			28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③	
	11	職場に潜む危険②			29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④	
	12	職場に潜む危険③			30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤	
	13	職場に潜む危険④			31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥	
	14	職場に潜む危険⑤			32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦	
	15	職場に潜む危険⑥			33	危険ポイント総復習	
	16	職場に潜む危険⑦			34	期末テスト(口頭試問)	
	17	期末テスト(口頭試問)			35	テストフィードバック	
	18	テストフィードバック			36	年間総括	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義		
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必修・選択・必修選択	後 期 ・ 通 年	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)		
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける						
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	自己紹介			19			
	2	自己紹介			20			
	3	講義形式の授業の受け方			21			
	4	実習形式の授業の受け方			22			
	5	インターンシップについて			23			
	6	レポート提出について			24			
	7	レポートの書き方			25			
	8	提出物について			26			
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27			
	10	日直制度について			28			
	11	一般的なドレスアップについて			29			
	12	オフィスカジュアルとは			30			
	13	学内での注意事項			31			
	14	学内でのルール			32			
	15	ワークショップ①			33			
	16	ワークショップ②			34			
	17	ワークショップ③			35			
	18	まとめ			36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率		80%				
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						



## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。 英語面接の練習は、外国人数員が担当する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	進路＆業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書＆ESの書き方①			32		
	15	履歴書＆ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)		
授 業 目 的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授 業 概 要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。英語面接の練習は、外国人教員が担当する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	志望動機作成①		19			
	2	志望動機作成②		20			
	3	志望動機添削		21			
	4	自己PR作成①		22			
	5	自己PR作成②		23			
	6	自己PR作成③		24			
	7	自己PR添削		25			
	8	英語面接練習①		26			
	9	英語面接練習②		27			
	10	英語面接練習③		28			
	11	筆記試験対策 国語①		29			
	12	筆記試験対策 国語②		30			
	13	筆記試験対策 社会①		31			
	14	筆記試験対策 社会②		32			
	15	筆記試験対策 社会③		33			
	16	筆記試験対策 英語①		34			
	17	一般常識の試験		35			
	18	面接練習		36			
成 績 割 合	テスト		0%	学 習 FB 方 法	成 績 表 送 付		
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		SPIの問題集などを使って行う。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	就職試験とは		19			
	2	SPI対策①(言語)		20			
	3	SPI対策②(言語)		21			
	4	SPI対策③(言語)		22			
	5	SPI対策①(非言語)		23			
	6	SPI対策②(非言語)		24			
	7	SPI対策③(非言語)		25			
	8	集団面接対策講座①		26			
	9	集団面接対策講座②		27			
	10	集団面接対策講座③		28			
	11	グループディスカッション対策①		29			
	12	グループディスカッション対策②		30			
	13	グループディスカッション対策③		31			
	14	個人面接対策①		32			
	15	個人面接対策②		33			
	16	個人面接対策③		34			
	17	SPI試験		35			
	18	各種面接の総復習		36			
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義		
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)		
授業目的		職業に関しての理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関しても理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。						
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション			19			
	2	キャリアとは何か			20			
	3	キャリアデザインに関する理論①			21			
	4	キャリアデザインに関する理論②			22			
	5	キャリアデザインに関する理論③			23			
	6	職業とは			24			
	7	多様な職業を知る			25			
	8	キャリアの振り返り			26			
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27			
	10	パーソナリティ			28			
	11	社会の理解			29			
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30			
	13	多様なキャリア			31			
	14	就職活動に関係するスキル①			32			
	15	就職活動に関係するスキル②			33			
	16	社会において求められる能力			34			
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35			
	18	まとめ			36			
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付			
	学習態度・出席率		80%					
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格			
	合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

## シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について		19			
	2	オリエンテーション2 チームビルディング		20			
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??		21			
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)		22			
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)		23			
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		24			
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		25			
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い		26			
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～		27			
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??		28			
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		29			
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		30			
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		31			
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		32			
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		33			
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		34			
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		35			
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える		36			
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≦課題解決型学習≧50% R≦実働実践型学習≧10% A≦主体的参加型学習≧20% G≦海外体感型学習≧20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科	エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ (必修選択)		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的	航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??		19		
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??		20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)		21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)		22		
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		23		
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		24		
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		25		
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し		26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める		27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める		28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める		29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める		30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル		31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル		32		
	15	最終プレゼン①		33		
	16	最終プレゼン②		34		
	17	まとめ		35		
	18	振り返り		36		
成績割合	テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率		60%			
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		英会話Ⅱ		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい 学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎 から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の 教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	Units 7/8 Lesson A	
	2	オリエンテーション2			20	Units 7/8 Lesson B	
	3	オリエンテーション3			21	Units 7/8 Lesson C	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Test 7/8	
	5	Units 1/2 Lesson B			23	Test 7/8	
	6	Units 1/2 Lesson C			24	Units 9/10 Lesson A	
	7	Test 1/2			25	Units 9/10 Lesson B	
	8	Test 1/2			26	Units 9/10 Lesson C	
	9	Units 3/4 Lesson A			27	Test 9/10	
	10	Units 3/4 Lesson B			28	Test 9/10	
	11	Units 3/4 Lesson C			29	Units 11/12 Lesson A	
	12	Test 3/4			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明できるよう学びます。	
	13	Test 3/4			31	Units 11/12 Lesson C	
	14	Units 5/6 Lesson A			32	Test 11/12	
	15	Units 5/6 Lesson B			33	Test 11/12	
	16	Units 5/6 Lesson C			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Test 5/6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	Test 5/6			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		75%	学習FB方法	前期・後期に成績表配布	
		学習態度		25%			
		レポート		0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。					

## シラバス

科目名		検定英語Ⅱ		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)			22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167			23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2			24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6			25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6			26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5			27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167			28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2			29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6			30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6			31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167			32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6			33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6			34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					



## シラバス

科目名		接遇手話Ⅱ		担 当 者 名		仲野 裕子	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解を深める ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への応対技術を学ぶ。					
授業概要		聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。 聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	日常会話/例文練習(友人との会話)	
	3	オリエンテーション③			21	〃 (国名・観光地の表現)	
	4	基本の復習と確認(自己紹介・指文字/数字等の復習)			22	接遇手話(建物内での案内 トイレ/非常口)	
	5	基本の復習と確認(疑問詞を使った会話の復習)			23	〃 (窓口での会話 旅行会社/ホテル)	
	6	〃			24	〃 (レストランでの接客 注文/レジ等)	
	7	〃			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	接遇手話(接遇に関する単語)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (接客での会話練習)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃			28	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃			29	1年間の総復習①	
	12	地名の復習(都道府県の表現を含んだ会話練習)			30	1年間の総復習②	
	13	〃			31	1年間の総復習③	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			32	1年間の総復習④	
	15	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期の復習			35	試験の返却/解説	
	18	前期末試験(表出試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

## シラバス

科目名		観光英語Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)	
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19		
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20		
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21		
	4	U2 Listening,過去問			22		
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23		
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24		
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25		
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26		
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27		
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28		
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29		
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30		
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31		
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32		
	15	Riview,Lis.過去問			33		
	16	復習			34		
	17	前期期末テスト			35		
	18	テスト返却、解説			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		外国語検定Ⅱ		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)	
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			19		
	2	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			20		
	3	U10 Culture Experience in Japan 1			21		
	4	U11 Culture Experience in Japan 2			22		
	5	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			23		
	6	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問			24		
	7	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			25		
	8	U13Dealing with Health Problems&Emergencies			26		
	9	U14 Dealing with complaints & Accidents			27		
	10	U14 Dealing with complaints & Accidents			28		
	11	U15 Upon Departure			29		
	12	みんなの外国語検定対策① 過去問、Listening			30		
	13	みんなの外国語検定対策② 過去問、Listening			31		
	14	みんなの外国語検定対策③ 過去問、Listening			32		
	15	みんなの外国語検定対策④ 過去問、Listening			33		
	16	後期期末テスト			34		
	17	テスト返却、解説			35		
	18	振り返り まとめ			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

## シラバス

科目名		エアポートプレゼンテーション		担当者名		中川文康	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義と実践形式演習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		基本に忠実なプレゼン技法の習得を通じて、コミュニケーションの質を高める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼン資料作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションを実践できるようにする					
授業概要		①コミュニケーション強化の個人目標設定 ②プレゼンテーションの本質を理解する ③資料作成技術修得 ④話し方・表現等の技術修得					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション＋FB協議		19	新規の個人別演習課題目標設定		
	2	自己紹介の要点と技術＋小演習		20	新規の個人別演習課題目標設定		
	3	プレゼンテーションとは		21	資料作成		
	4	プレゼンテーション・マインド＋小演習		22	資料作成		
	5	プレゼンテーション・マインド＋小演習		23	資料作成		
	6	プレゼンの準備と戦略＋小演習		24	資料作成		
	7	プレゼンの準備と戦略＋小演習		25	資料作成(個人指導)		
	8	資料作成の要点(1)＋作成実習		26	資料作成(個人指導)		
	9	資料作成の要点(2)＋作成実習		27	資料作成(個人指導)		
	10	実践実技の要点＋話し方実習		28	資料作成(個人指導)		
	11	実践実技の要点＋話し方実習		29	実践発表		
	12	個人別演習課題 資料作成		30	実践発表		
	13	個人別演習課題 資料作成		31	実践発表		
	14	個人別演習課題 資料作成		32	実践発表		
	15	個人別演習課題 資料作成仕上げ		33	期末試験(レポート記述＋提出)		
	16	個人別演習課題 資料作成 提出		34	試験返却		
	17	期末試験(レポート記述＋提出)		35	まとめ		
	18	試験返却		36	振り返り討議		
成績割合		テスト(提出資料内容)		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		20%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		プレゼンテーション及びコミュニケーション技術の企業研修講師として10年のキャリアを活かし、学生が興味を持って取り組めるプログラムと演習課題で学ぶ動機づけを継続させ、人前で話すことに自信をつけさせる。					

## シラバス

科目名		アマデウス実習Ⅱ		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択	・ 通 年 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19	前期復習		
	2	オリエンテーション②		20	分割、変更		
	3	オリエンテーション③		21	PNRのコピー、変更		
	4	国際線への導入		22	ヒストリー、キュー		
	5	各種コード検索		23	空席照会応用(2区間など)		
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会		24	SSR応用(連絡先、APISなど)		
	7	空席照会からの予約		25	運賃①		
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力		26	運賃②		
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約		27	基礎知識まとめ①		
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン		28	基礎知識まとめ②		
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約		29	ロールプレイ①		
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定		30	ロールプレイ②		
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG		31	期末テスト対策		
	14	FFP、OSI、RMKS		32	期末テスト		
	15	総復習		33	テスト返却 解説		
	16	検定対策①		34	まとめ①		
	17	期末テスト(検定対策②)		35	まとめ②		
	18	検定対策③		36	まとめ③		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

## シラバス

科目名		車両実習Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習形式	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要なトーイングトラクターの運転技術の修得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		空港で一番台数が多く、航空機に手荷物・貨物を搭降載する際に必要不可欠なトーイングトラクターを運転する。そして、操作スキルの修得を目指す。					
授業概要		トーイングトラクターを使用しての実習					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	車両応用①(牽引走行)	
	2	オリエンテーション②			20	車両応用②(牽引走行)	
	3	トーイングトラクターの特性			21	車両応用③(牽引走行)	
	4	始業前点検			22	車両応用④(牽引走行)	
	5	車両運転①(前進・後進)			23	車両応用⑤(スラローム走行)	
	6	車両運転②(前進・後進)			24	車両応用⑥(スラローム走行)	
	7	車両運転③(前進・後進)			25	車両応用⑦(スラローム走行)	
	8	車両運転④(スラローム)			26	車両応用⑧(スラローム走行)	
	9	車両運転⑤(スラローム)			27	車両応用⑧(牽引バック走行)	
	10	車両運転⑥(スラローム)			28	車両応用⑨(牽引バック走行)	
	11	車両運転⑦(スラローム)			29	車両応用⑩(牽引バック走行)	
	12	車両運転⑧(幅寄せ)			30	車両応用⑪(牽引バック走行)	
	13	車両運転⑨(幅寄せ)			31	車両応用⑫(牽引バック走行)	
	14	車両運転⑩(幅寄せ)			32	車両応用⑬(牽引バック走行)	
	15	車両運転⑪(幅寄せ)			33	車両応用⑭(牽引バック走行)	
	16	車両運転⑫(幅寄せ)			34	実技試験	
	17	実技試験			35	フィードバック	
	18	フィードバック			36	まとめ	
成績割合		実技テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		50%			
		レポート・課題		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		航空会社のグラウンドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		パソコン実習Ⅱ		担 当 者 名		千葉 輝子	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	表作成課題(相対参照と絶対参照)		
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)		20	課題(計算、表の装飾)		
	3	スライドの作成 図		21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)		
	4	スライドの作成 グラフ		22	表作成課題(RANK.EQ関数)		
	5	スライドの作成 SmartArt		23	表作成課題(IF関数)		
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について		24	グラフ作成の基本		
	7	発表用資料作成		25	課題(計算、表の装飾、グラフ)		
	8	〃		26	〃		
	9	〃		27	〃		
	10	〃		28	表作成課題(VLOOKUP関数)		
	11	中間試験 プレゼン発表		29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)		
	12	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)		30	〃		
	13	表作成課題(四則演算/表の装飾)		31	〃		
	14	〃		32	〃		
	15	〃		33	〃		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

## シラバス

科目名		フィジカルトレーニングⅡA		担 当 者 名		小池 太	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		実技	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数2)
授業目的		健康な心身と生涯スポーツの楽しさを学ぶ。他者と協力して課題を解決する力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		グループにおける実技を通して、他者との関わりの中で自分の役割を確認することで、自己の成長を培う。自主的に参加することで、積極的に問題を解決し仲間と協力して成し遂げることで達成感を得る。					
授業概要		社会人になる為の準備としての、グループでの行動や協力を促す為のアイスブレイクや、アクティブラーニングに見られる積極的な活動参加による問題解決が行われる活動(ASE)を取り入れ、社会人になった後も、quality of lifeを意識した、個々の健康を維持できるような生涯スポーツやレクリエーションスポーツの導入を行う。					
授業計画表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	アイスブレイク (個人または少人数で参加できる活動)			20		
	3	アイスブレイク(グループで参加できる活動)			21		
	4	イニシアティブゲーム (コミュニケーション・協力を促す)			22		
	5	イニシアチブゲーム (自己開示・グループ対抗)			23		
	6	イニシアティブゲーム (他者との関係を促す)			24		
	7	レクリエーションスポーツ (インディアカ・ユニホック)			25		
	8	レクリエーションスポーツ (バウンズボール・アルティメット)			26		
	9	レクリエーションスポーツ (ソフトバレーボール・ポートボール)			27		
	10	ウォーミングアップとクールダウン			28		
	11	生涯スポーツ (バドミントン・卓球)			29		
	12	生涯スポーツ (バスケットボール:ミニゲーム)			30		
	13	生涯スポーツ(タッチバレーボール)			31		
	14	生涯スポーツ(創作ダンス)			32		
	15	生涯スポーツ(創作ダンス)			33		
	16	生涯スポーツ(フットサル)			34		
	17	競技スポーツ(バレーボール)			35		
	18	競技スポーツ(バスケットボール)			36		
成績割合		テスト・実技		25%	学習FB方法	授業中の課題に対するソフトコメント	
		学習態度		25%			
		出席率		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		生活の質の向上には生涯スポーツは大きな役割を持っています。健康の維持促進、社会に出た時に協力して問題を解決する力を、フィットネスの実技を通して楽しみながら学習しましょう。					



## シラバス

科目名		海外観光地理		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	世界の食事情		
	2	世界の国々と首都		20	世界の行事・イベント		
	3	世界遺産		21	世界のテーマパーク		
	4	世界遺産		22	世界の空港		
	5	オーストラリア・ニュージーランド		23	地域研究概論(各地の空港と観光地)		
	6	太平洋の島々		24	地域研究 ヨーロッパ1		
	7	アメリカ		25	地域研究 ヨーロッパ2		
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー		26	地域研究 ヨーロッパ3		
	9	欧) 全体の地勢		27	地域研究 北アメリカ		
	10	欧) 英・仏・伊		28	地域研究 北アメリカ2		
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー・中欧諸国		29	地域研究 東南アジア1		
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ		30	地域研究 東南アジア2		
	13	欧) 北欧諸国・ロシア		31	地域研究 中国		
	14	中国		32	地域研究 オセアニア		
	15	台湾、香港、韓国		33	地域研究 太平洋の島々		
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン		34	地域研究 オセアニア		
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国		35	地域研究 中近東・アフリカ		
	18	確認テスト・まとめ1		36	確認テスト・まとめ2		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

## シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授 業 方 法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		社会人基礎力の育成					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人基礎力の育成し、社会人となる					
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	後期概要	
	2	オリエンテーション2			20	学院祭学科イベント立案・役割分担	
	3	目的目標設定について			21	学院祭準備	
	4	クラス目標設定			22	学院祭準備	
	5	個人目標設定			23	学院祭準備	
	6	就職対策1			24	学院祭準備	
	7	就職対策2			25	学院祭準備	
	8	就職対策3			26	学院祭準備	
	9	学院祭 クラス企画話し合い			27	学院祭振り返り	
	10	学院祭 クラス企画決定			28	社会人講座 働くことの意味	
	11	主体性について			29	社会人講座 コミュニケーション	
	12	チームワークについて			30	社会人講座 マナー	
	13	夏期特別講座概要			31	卒業作品展立案・役割分担	
	14	学院祭について			32	卒業作品展準備	
	15	学院祭について			33	卒業作品展準備	
	16	学院祭について			34	卒業作品展準備	
	17	個人目標再設定			35	卒業作品展振り返り	
	18	前期総括			36	年間総括	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		ケーススタディⅡ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、実習、発表など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		過去に起こった出来事の原因と結果を研究、共有することで、今後起こりうるリスクを予見できるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「リスクを回避できるようになる」「新しいアイデアがでてくるようになる」「時間を短縮できるようになる」 そして「慣れる」ようにする。					
授業概要		職場や、日常での事例探究					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険①		
	2	オリエンテーション2		20	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険②		
	3	日常生活に潜む危険①		21	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険③		
	4	日常生活に潜む危険②		22	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険④		
	5	日常生活に潜む危険③		23	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑤		
	6	日常生活に潜む危険④		24	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑥		
	7	日常生活に潜む危険⑤		25	航空業界(グランドハンドリング)で潜む危険⑦		
	8	日常生活に潜む危険⑥		26	航空業界(機内・空港内)で潜む危険①		
	9	日常生活に潜む危険⑦		27	航空業界(機内・空港内)で潜む危険②		
	10	職場に潜む危険①		28	航空業界(機内・空港内)で潜む危険③		
	11	職場に潜む危険②		29	航空業界(機内・空港内)で潜む危険④		
	12	職場に潜む危険③		30	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑤		
	13	職場に潜む危険④		31	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑥		
	14	職場に潜む危険⑤		32	航空業界(機内・空港内)で潜む危険⑦		
	15	職場に潜む危険⑥		33	危険ポイント総復習		
	16	職場に潜む危険⑦		34	期末テスト(口頭試問)		
	17	期末テスト(口頭試問)		35	テストフィードバック		
	18	テストフィードバック		36	年間総括		
成績割合	テスト		30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		50%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		ビジネスマナー		担当 者 名		相川奏恵	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。 会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。 自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	テスト返却と前期の振り返り	
	2	オリエンテーション②			20	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)	
	3	コミュニケーション①			21	配慮の必要な方へのお手伝い	
	4	コミュニケーション②			22	バリアフリーとノーマライゼーション	
	5	ストローク			23	顧客満足とホスピタリティ	
	6	電話応対①			24	空間心理①	
	7	電話応対②			25	空間心理②	
	8	電話応対③			26	顧客心理①	
	9	好感もてる話し方・感じの良い聞き方			27	顧客心理②	
	10	来客応対と会話の仕方			28	クレーム対応①	
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方			29	クレーム対応②	
	12	訪問時のマナーと名刺交換			30	会社組織と協働	
	13	アポイントと訪問			31	指示・命令の受け方と報連相	
	14	ビジネス文書(社外)①			32	PDCAサイクル	
	15	ビジネス文書(社外)②			33	自己啓発と自己管理	
	16	ビジネス文書(社内・社交)①			34	期末テスト	
	17	ビジネス文書(社内・社交)②			35	テスト返却と1年の振り返り	
	18	前期期末テスト			36	まとめ	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	レポート添削・実習個別評価とアドバイス 復習確認ワークシート・定期テスト解説 前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

## シラバス

科目名		航空機概論		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義、演習など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)		
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。					
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容		
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義		19	航空力学①		
	2	ドローンに関わる法令について		20	航空力学②		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①		21	航空機構造、材料		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について		22	航空機原動機、航空装備①		
	5	管制官の業務・用語について		23	航空機原動機、航空装備②		
	6	管制官の業務・用語について		24	航空法①		
	7	客室乗務員の資格や業務について①		25	航空法②		
	8	整備士の資格や業務について①		26	航空気象①		
	9	整備士の資格や業務について②		27	航空気象②		
	10	パイロットの資格や業務について①		28	操縦方法①		
	11	パイロットの資格や業務について②		29	操縦方法②		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①		30	航空管制①		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②		31	航空管制②		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①		32	空港、航空保安施設①		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②		33	空港、航空保安施設②		
	16	総復習		34	航空安全、航空関連職業知識 基礎的な航空一般常識の復習		
	17	定期試験		35	定期試験		
	18	試験返却、フィードバック		36	試験返却、フィードバック		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		20%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

## シラバス

科目名		国際航空貨物事情		担当 者 名		和田 彰		
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義・演習		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		航空危険物の受託業務,及び国際航空輸送動向の基礎的知識を習得する。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		演習を通じて自己解決能力をを養うと共に、発表力を高める。						
授業概要		航空危険物の受託業務の基礎的知識を習得し、演習問題を通じて自己解決能力を養う。						
授業計画表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション			19	ALとフォワーダーの関係		
	2	航空危険物輸送の特性			20	混載の仕組み		
	3	リチウム電池の発火事例			21	混載のメリット①		
	4	リチウム電池の発火原因			22	混載のメリット②		
	5	リチウム電池の取り扱い規則①			23	全日空 沖縄ハブ構想の概要		
	6	リチウム電池の取り扱い規則②			24	沖縄ハブ構想のメリット・デメリット		
	7	無申告事故事例			25	沖縄ハブ構想は今後拡大可能か		
	8	米国発着に係わる無申告事故と罰金事例			26	国内主要空港の実績及び特徴①		
	9	危険物の分類			27	国内主要空港の実績及び特徴②		
	10	危険物の出荷方法			28	主要インテグレータの動向		
	11	危険物を収納する容器、及び包装要件			29	Fedexの戦略		
	12	危険物ラベル・マークのチェックポイント			30	航空輸送の特性		
	13	危険物申告書のチェックポイント①			31	日系フォワーダーの動向		
	14	危険物申告書のチェックポイント②			32	Fedexの戦略		
	15	危険物取扱いの演習①			33	航空輸送の特性		
	16	危険物取扱いの演習②			34	期末試験		
	17	期末試験			35	試験返却		
	18	試験返却			36	年間のまとめ		
成績割合		テスト		80%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度		10%				
		レポート		10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		40年間の実務経験と10年以上のJAFADIPLOMA講師、及びIATA認定講師						

科目名		Japanese Culture II		担 当 者 名		Gary	
学科		エアポートサービス科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					
授業計画表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	世界遺産		
	2	オリエンテーション2		20	京都		
	3	オリエンテーション3		21	京都の世界遺産		
	4	イントロダクション		22	和風建築		
	5	日本について知っていること		23	日本の家屋・古民家		
	6	日本の各時代		24	江戸建物		
	7	時代についてプレゼンテーション		25	江戸建物・博物館		
	8	鎌倉時代		26	スピーチの準備		
	9	鎌倉の建築物		27	スピーチの練習		
	10	鎌倉のプレゼンテーション1		28	クラスでスピーチ披露		
	11	鎌倉のプレゼンテーション2		29	モダン日本文化・ポップカルチャー		
	12	日本食		30	最後のスピーチ		
	13	日本食プレゼンテーション		31	テストの説明		
	14	日本の夏		32	クラスでスピーチ		
	15	日本の祭り		33	期末テスト		
	16	祭りとテストの説明		34	確認テスト・まとめ1		
	17	祭りのプレゼンテーション		35	確認テスト・まとめ2		
	18	期末テスト		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		30%				
	レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					